

フルHDサイズでPDFも同梱! スマホやタブレットでも気軽に読めます!



肛拡張女子の日常? 性活

~女神パワーで小さくなった私は大きく拡張していくことにします~

基本シーン11枚 総ページ数185枚 総CG枚数652枚



.....んっ
はあっ
あああっ.....

ひくっ

はあっ、ああ.....
ふっ、うんっ.....
いいっ.....

ああっ.....
ジンジン.....
しびれちゃう.....

気持ちよくて
たまらない

アナルに入れた
指を動かしながら
私は声を上げる



あはっ♡

あはっ♡

両親は仕事で朝早く出ちゃって
いないから
毎回オナニーが
はかどっちゃうん
だよ

今日は(も?)
家に帰って
いつものように
オナニー

私、神咲日向
どこにでもいる
オナニー好きの女の子

はっ、あぁっ……
んんっ、ふうっ
んっ……

指……
もっと奥まで
いれて……
動かして……
はっ、あぁんっ

くっ、
くっ、



ああ、ビクンって
刺激が響いて……
はあっ、すくくっ

あ

やっぱり
アナルって
気持ちいい

はじめて触った
ときはすごい
ビクビクしてた

アナルいじりを
初めて知ったのは
ネットで見た
CG集だった

かわいい
女の子たちが
信じられない
ぐらいに大きな
ものをお尻に……

んっ……
はあっ
ああっ……

ああっ、想像した
だけでお尻の穴が
締めつけてきて
気持ちいい

私は締め付けに
対抗するように
指を動かす

びくっ

えんっ

びくっ



んっ♡

前に比べたら結構広がるようになった……よね

広げて……戻して……はあっ、んっ……

んっ……ふうっ……んんっ……

中で指をグッと開いてアナルを広げる

くほっ♡

強い締め付けに逆らうように指を広げる



んんっ♡

このパイプは
私が普段から
使ってる
愛用のやつ

ほおっ、おっ
んはあっ……
んっ、んっ

はあっ……
あっ、はあっ……
んんっ……

ああっ、入って
来てるよお……
おっ、おおっ……

最初の頃は
お尻のガードが
かたすぎて
先っほを
入れるのも
＝苦勞だった

けど今は

んんんっ♡



んっ……♡

んっ……
ふっ、ふああっ……
入ったあ……

んっ、ふっ……
はああっ……
はああああっ

みっちりの中に
かたいものが
はいつている感じ
これがいい

なんだか
安心感

もちろん
それだけ
じゃない

これからもっと
気持ちよくなる

私は次にくる
衝撃を期待しつつ
パイプのスイッチを
ONにした

何度も何度も
ほぐし入れて
慣れてきたから
一度入れてしまえば
後はスムーズに
入っちゃう



びん
びん

はっ!
あああ
ああっ
ああっ……!

はあっ
ああっ……
中で暴れて
んんっ!

んっ、ふうっ
んんっ!
あああっ
はああっ……

お尻の穴が
カアッと
熱くなる

身体を
貫く振動

あああっ……
声がっ……
勝手に……
出ちゃって……
はあああっ!

ああっ!
はあっ!
すごい……
でも、もっと……
いける、から

私は痺れを
感じながら
腰に力を
込めていく

やい
やい

ウゲー
ウゲー



んっ…ふうっ
はあっ
ああっ!

びんびん
びんびん

バイブが
震えながら
お尻の奥へ
出たり入ったり

はあっ!
あっ!
お尻っ…
お尻っ…
擦れて…
はうっ…
熱いっ…

太いのが中を
ゴリゴリ擦って
これ凄
予想してた
よりも
ずっと凄

うんっ、ふううっ!
お尻熱くて…
目の奥がチカチカ
してきて…
ふあっ、ああっ…

もっと…
もっと動かしたら
私…はあっ
あっ、あああっ!!!

ずほっ♡
ほほっ♡



はぁん♡

はぁっ
はぁっ
はぁあーっ……

はぁん♡

……私も
漫画とかCG集で
あったみたい
にいろんなもの
をアナルにい
れて
拡げてみたい
なあ

あぁっ……
今日もよかつた……
やっぱりアナル
最高だよ

私、実はエロい
漫画も
CGも大好き

特に拡張もの
ジャンルが
最高！

アナルオナニーも
それで覚えちゃった

好きすぎて
最近自分
でエロいイラ
ストも描き
始めちゃっ
たりなん
かして……

はぁん♡
はぁん♡



なんかこう
エロ妄想が
とまらなくて……

そうしたら
憧れの作家さんと
アナルオナニーの
話ができたりして

これって
素敵じゃない！

そうだったら
どんな話しよう……

素敵な妄想が
次々浮かぶ

そんなことを
しているうちに
私は徐々に
睡魔に襲われて
いった

人に見せる予定は
いまのところ
ないけど
もっとうまく
なったら本にして
サークル参加して

お気に入りの
サークルさんに
渡しに行きたいなー
……なんて

複数挿しの
話かなあ……
それとも
それとも
やっぱり車止め……

起きてください
原咲日向さん

女神です
あなたの魂に
直接語りかけて
います

あなたの
心からの願いが
時空を超えて
私に届きました

……すうっ
すうっ……

……んっ
んんっ……
ふあああーっ……
んんっ
何？
今の声

は、はい……

何？
一体何が
起こってるの？
わからない……

だけど、とりあえず
話を聞くしか無い
そんな気がする……

あなたの願いの
純粹さ、強さに
私は感銘を
受けました

は、はい
どうも……

だからあなたの
願いを叶えて
あげることが
できました！

は、はあ……

私が願いを
叶えることなんて
めったに
無いんです
もっと喜んで
ください

それはありがたいん
ですけど……
で、私、なんの願いを
叶えてもらえるん
でしょうか？

『漫画みたいに
もっといろんな
モノをアナルに
入れてみたい』
そう思った
でしょう？



あ、それは女神の
秘密事項です

ソレです！
あなたのアナルに
対する熱い思いに
感動しました。

で、女神パワーで
助けてあげようと
思いました

それで感動
しちゃうって
あなたなんの
女神なんですか！

あっ……
はい……
ってソレですか？



ええっ
……って
なんですかこれ
私の体が小さく
なってるん
ですけど！

今までこの自称女神
との会話で気づいて
なかったけど
私の体がすごく
小さくなってる！

自称では
ありません
女神です
気づいてくれた
なら説明が
省けますね
これはあなたの
願いをサポート
するためです

アナルにいろんな
ものを入れて
みたいって
いうのを？

そうです
いろんなものを
入れられるアナルに
なるためには
少しずつ大きな
もので広げていく
必要があります

これはその
ためですね

あ、もとの
サイズに
ちゃんと
戻るんですね
よかったです

ホッ

なるほど……
今の体の大きさと
考えると
周りのもの全て
挿入可能かどうかで
考えることが……

……小さくなった
体で可能なものを
挿入して、アナルの
サイズが一定まで
拡張されたら
体のサイズが
すこしずつ元
に戻っていきます

もちろんです！
勝手に小さいまま
なんてことは
しませんよ
元に戻るまでに
身の回りの
いろいろなものを
入れて楽しんで
ください



うう、興奮して
きてしまう！

自室の見慣れた
アイテムがみんな
拡張に必要な
『太さ』をもつものに
見えてきてしまう

今の体であの太さが
アナルに入ると
なるとかなり
……凄
い

た、たしかに……

でしょう？
例えばシャープ
ペンシルだって
今のあなた
の大きさだと
かなりの代物
でしょう？

さらに
女神サポート2！

祝福によりアナルの
括約筋と腸自体の
柔軟度を上昇
さらに腸液の増量で
挿入をサポートします

あなたには
しっかりアナル
拡張を楽しんで
もらいたい
ですから！

おおっ！

わかりました！

ふふっ
良い返事ですね

拡張の経験は
体に残りますから
元の大きさに
戻ったら漫画や
CG集のような
妻いことが
できますよ

私も車止めとかが
行けるように……

そうです
いけます！





……でもそんな
徐々に拡げて
いくってことに
しなくても
女神パワーで
一気に拡げて
しまっても
よかったんじゃない……

勿論それも
できました
……でも
いっぱい
いろんなものを
入れて自分で
拡げていきたいん
ですよね？

……なんか
姿は見えないけど
グッと手を握ってる
気がする

……そうですね
自分で
したいです



では頑張っ
てください
応援して
いますよ……

その言葉を最後に
女神様からの声は
途絶えた

とりあえず
一番近くでモノが
ありそうなのは
あそこだな

さて、と、女神様も
応援してくれてる
ってことだし……

……この体の
大きさと
高いな
机



……ふうっ
やっつけた……

机がこんなに
高くて広いだなんて
もうびっくり

いやまさか家で
ロックライミング
みたいな真似する
ことになるとは……

さて、なにか
アナルに
手頃なものは……

キヨロキヨロと
見回す机の上は
見慣れているはず
なのに、どこか
違った印象

機能とかよりも
太さとか
どんな形を
しているのかを
気にしちゃうと
いうか……

あれもこれも
入れられるの
かもって考えると
なんか文房具
とかも見方が
変わっちゃう

どれに
しようかな…

それなりに太くて
もとの大きさ
だったから入れたりとか
考えたりしない
ようなものもいいかも

……あ
これなんて
良いんじゃないかな





スイ♡スイ♡

使って気持ちよくなるのはいいんだけど、壊れて買い直し...なんてのは困るな お金もつたいないし

イヤホンのミニプラグがまさか入れる対象になるだなんて...

入れたあともちゃんと使えるのかな、これ?

さあ、入れてみるかな... ようし! 始めるぞー!

手に持ってみると結構太く感じる 結構尖った感じするし

入れたらどうなるのか... 楽しみ!



はあっ……
ん、ふうっー
……んっ!

ああっ
中に入って
くる……

入れはじめの
ときに金具部分が
触れて思わず声
が出てしまった

結構
冷たかった

トクン
トクン
トクン

太さは……
いつも使ってる
アナルディルドと
同じぐらい、かな?

これなら
行けそう

細い金属部分を
収めた後は
いよいよ本番

一気に
深くなる

あぁっ♡

あぁっ♡



ふうっ
はあっ……
プラグの
ギザギザが
擦れて……

はあっ
んっ
ふうっ……

お尻の中ゴリゴリ
してる……
んっ、ふうっ……

んはっ

本来持ちやすく
するためなのか
軽く盛り上がった
している部分が
入れるときに
引っかかる

押し込んで
いくと
擦れて刺激が……
これ結構強い

大きいとギザギザが
あるのでなかなか
スムーズに入らない

くっ
くっ
くっ



びくん

なにこれ?
こんなこと
今まで... あっ

いきなり
腸内から粘液が
溢れ出てきた

とろりとした
液体でプラグごと
腸内を濡らして

びゅん

そうかさっき言ってた
女神サポートだ
これ

腸液の増量って
いった

あの時は聞き
流してたけど
これ、結構便利かも

滑りが一気に
良くなった

あとなにか
もう一つ
言ってたな
確か...

そう、括約筋の
柔軟度の上昇だ

てことは...

ここももっと
広がるって
ことだよな……
んあっ

どこまで
伸びるのかな……
プラグを入れたまま
私は指をアナルに
挿入していく

腸壁を内側から
押し広げたり
つまんで
引っ張ったりと
色々な刺激を
与えてみる

広がる
広がる……

今までなら
これ以上は無理
だろうという
レベルまで
引っ張っても
全然平気だった
しかも全然
痛くない

むしろ
気持ちよくて
勝手に声が
漏れてきちゃう

んんん

んんん

んんん





すごいっ……
プラグが
入ったまま
指が何本も
入って……

こんなに……
伸びる
なんてっ……
なんっ
思わなかった
……よおっ!

伸びる、縮まる
繰り返しの
刺激に快感と
共に反応していた

指を絡めて
腸壁を刺激
していくと
気持ちよさが
広がって
また腸液が
溢れてきちゃう

こんなに
変わるなんて……
女神様パワーって
凄いです!

いつもの感覚で
ミニプラグの
太さが限界だと
思ってたけど
これならまだ
行けそうなの
気がする!

んふっ♡

ぞくぞく♡

くっ♡
ずっ♡
ずっ♡



おほっ

とよっ……

さて何を
いれようかな……
さっきよりも
太いもの
太いもの……と

机を見回す

入れるものとして
考えると
いろいろありすぎて
逆に選ぶのにも
困ってしまう

さっきの
ミニプラグよりも
大きくて……

あれはスマホ用の
イヤホンだった
わけだけど
あれは丁度いい
大きさだった

あ、これ
いいんじゃないかな

そばにいいのが
あるじゃない
これにしよう

目に止まったのは
スマホ用の
スタイラスペン
だった



んぎゅんぎゅん
おびゅん

はあっ……
ぐうっ……
やっぱりきつい

あっ……
ふううっ……
んんっ!

括約筋が挿入で
ぐっと引っ張られて
切れちゃいそうな
気がする

さらに
押し込む!

でも
女神様のパワーで
もっと伸びて
くれるはずっ!

大きく息を
吐き出した後
一気に挿入!

はああっ
ああっ
入ったっ……
凄い圧迫感

ズ
ズ



はあっ……
んんっ……
動かしちゃっ……
んはあっ

「おーん」

お汁も溢れ
ちゃって……
じゅぶじゅぶで……

ゴリゴリ
擦れて……
圧迫感す……

すじらっ……
擦れて……
はあっ
ああっ……

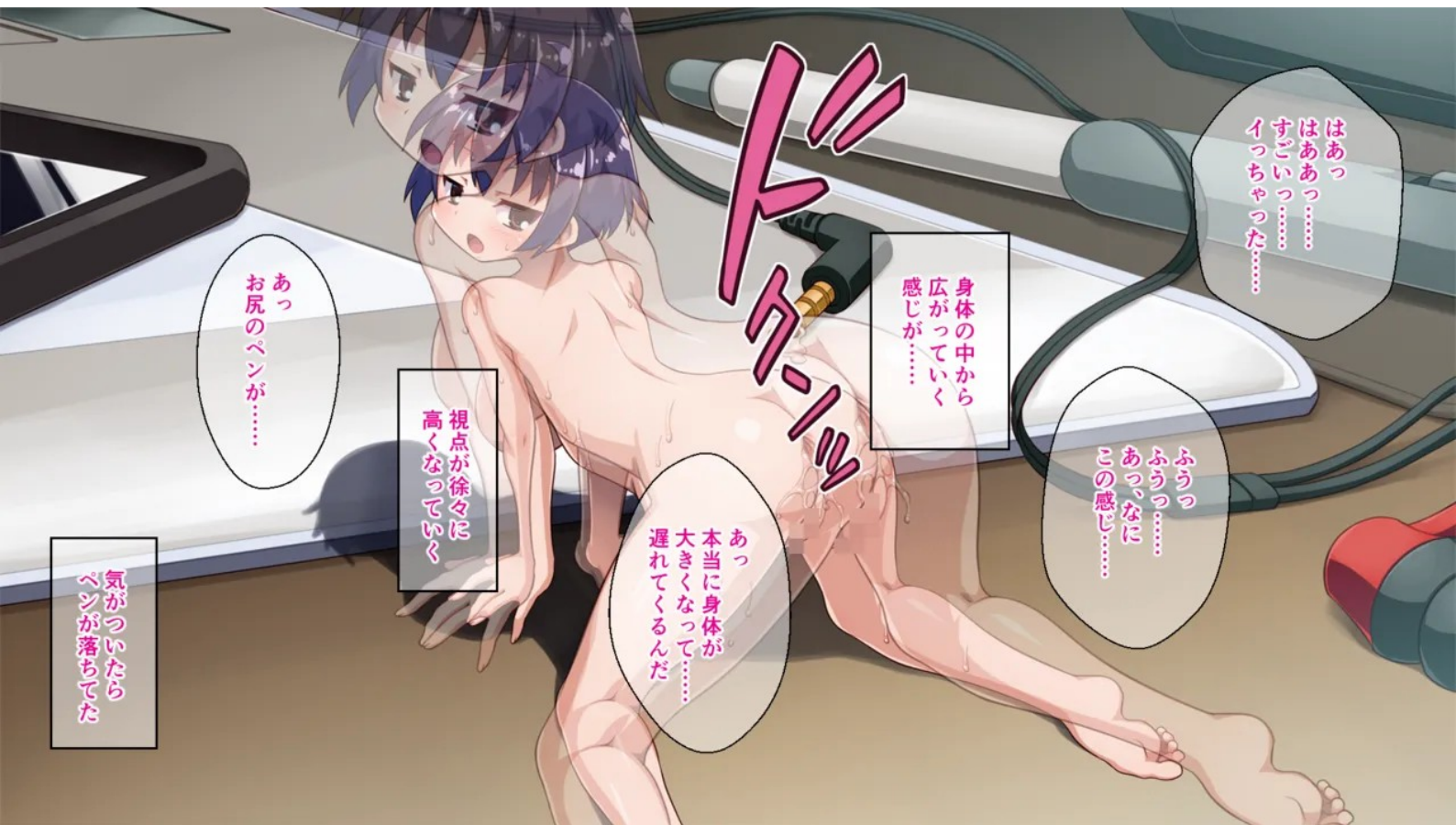
「おーん」

「ん」

「ん」

手が止まらないっ
はあっ
あっ
はあんっ!!

はあっ
ああっ
ああっ
はああっ!!



はあっ
はああっ……
すごいっ……
イっちゃった……

ふうっ
ふうっ……
あっ、なに
この感じ……

身体の中から
広がっていく
感じが……

ド
ク
ン
ン

あっ
本当に身体が
大きくなって……
遅れてくるんだ

視点が徐々に
高くなっていく

あっ
お尻のペンが……

気がついたら
ペンが落ちてた



あんなに強引に
押し込んだ
スタイラスペンが
もうこんなに細く
見えるって
ことは……

体が大きく
なったって
ことだよ

女神様は確か……
その時の体の
大きさが可能な
サイズを挿入して
アナルが一定以上
広がったら
すこし大きさが
戻って言うってたな

ってことは
最初の段階は
スタイラスペンの
大きさがクリアって
ことだね

あれって
あの体の大きさの
ときだと結構
ギリギリだった……

ってことはこれから
あのぐらいの
ギリギリレベルを
入れて広げないと
いけないって
ことかあ……



じゃあ次はどんな
太いのを入れ
ようかな……

ふふっ
楽しみ
すぎる！

一杯入れて
元の大きさに
戻ったときに
私のアナル
どれだけ広がって
るんだろう……

といっても
実はスタイラスペンが
抜けたときに
次はこれだなんて
思ったんだよね

私は絵を描くのに
使ってるタブレットに
向かって歩くと
ホルダーに差して
あるタブレット用の
ペンを手に取った



うっ……

う……
思ったより
太いかも……

これ
先端の部分から
一気に太くなる
んだけど……

ちょっと
厳しいかな……
あ、でも……

ほっそりとした
スタイラスペンと
比べると
ずんぐりと
している
特に握り部分が
さらに太い

んん



ペンなんだから
こういうことも
できるよね

ふっ♡

うん
これなら
大丈夫

ペンを逆さにして
そつと位置を
合わせる

深呼吸を一つ
してから
私はタブレットペンを
押し込んだ



ムム♡

はあっ
あっ
ほおっ
おっ

アナルが
広がって
はあっ
あっ

思ったとおり
先っほよりは
入れやすい
ねっ

はあっ
あっ
ふうっ

直腸を貫き
もうすでに
S字結腸まで
入ってしまった

はあっ
あっ
ふうっ



んんん♡

一気にここまで入るとは思わなかったけどこの奥、大腸まで行けるかなあ

今までは入っても基本直腸まで調子がいいときはS字結腸の入り口まで届くぐらいだった

……だけど今の私の身体は女神様の力で強化されてる

だから私はもっと奥まで入れられるはず

アナルをもっと拡げて、もっと奥大腸まで入れてしまうのだ

はあっ、ふうっ……
もっと奥まで……
ふぐうっ!!

Xリ
Xリ
Xリ



おっおっ♡

んん♡

でも無理だと思っ
ていたところに
入っているのが
嬉しい

苦しいだけじゃ
なくて気持ちいい

それにしても
アナルから
ダブルレットペンが
突き出している
この感じ

なんだか自分が
キャップになった
気分不思議
ふふっ

はあっ
ふううっ……
この状態で絵を
描いたらすごい
エロいのが……
なーんて……

さすがに
それはないか
画面見れないしね

……これなら
先っぽのほうでも
入りそう……かな
んんっ!

んんんんんん

ニニニニニニ

ニニニニニニ

うわっ……
アナルがぼっかり
口開いて……
すごいな
中見え
ちゃってる……

はぁ♡

洞窟のように
開いたアナル

はぁ♡

こんなに
広がってるなら
もっと太いのが
入るんじゃないかな

そう思いながら
机を物証
するうちに
タブレットペン
よりもっと太い
細長いものを
発見したのだった

これなら
タブレットペンの
先からも入りそう
……というか
多分問題ない

だけど
これを見ている
うちに私の中に
さらに欲が湧いて
きちゃった

すごい
エロい感じ……
んっ、なんだか
スースー
するし……

はぁ♡
はぁ♡

ようし
今度はコレ!



私が抱え
込んだのは
マジックペンだ

んっ……
しょっ……
おおっ
これはまた……
大した太さで……

自分で選んだ
ものだが
実際にあてがって
みると……

うーん、すごい
本当に入るかなあ
無理なんじゃ
……ふふっ

なんてことを
いいながらも
私の胸は期待で
高鳴っていた

はあっ……
はあっ……
ぶっといの
入れちゃうん
だから……

アナルをもっと
押し広げて……
いい感じだ
これで……

女神様を信じて
一気に……



んんんっ!
はあっ
んっ……
ふうふうっ!!

マジックが
腸壁がき回して
直腸ぶっすり
きたあ……

これは……
きつい……
けど……
それで
感じてきさちゃう……

……ぐっ
……ぐっ
……ぐっ

おっ!!
おっ!!
おっ!!

ふうっ
んんっ……
腰、動かし
ちゃうぞ……
はあっ、んっ……

めり
めり

←キムレ→



んっ、んっ
んっ！
ふっ
んっ！！

んぎん

んぎん

マジックの
ツルンとした
表面が腸壁を
潰すように擦れる

先端のキャップの
ギザギザが
直腸内の敏感な肉を
削りながら
さらに奥へと
入り込んでいく

ゴリゴリって……
擦れて……
んっ、んっ、んっ
！！！！

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

はああっ
あっ、すんいっ
中どんどん
入って……
S字結腸まで
来ちゃった……
しびれちゃうっ
はあっ
ああっ……



んんっ、お汁も止まらない……ピストンする度に溢れちゃって……んぐっ、ふうっっ!!

んんっ♡
んんっ♡

はあっ、んっ……ゴリゴリがっ……ずんずん響いて……
はあっ……ああっ……しゃんぐっ……

絡みつく結腸内をマジックペンが暴れまわる度

腸液が湧き水のように流れ出し、いやらしい音が止まらない

じゅじゅっ
じゅじゅっ
じゅじゅっ

グググ
グググ

んんっ
じゅぶ
じゅぶ
気持ちいいのっ……
はあっ、んっ
ふうっ、ふうっっ!!





あはあっ……
この感じ
また身体が
大きく……
あっ

マジック
落ちちゃった……

落ちたマジックペンと
自分を比べて
今の身体の
大きさを想定する

この大きさ
ってことは……
なるほど

ドクンッ

なんとなく
わかった

じゃあいまの
私のアナルに
なんとか
入りそうな
ものは……
なにかなあ？

うーん
今度はその
だなあ……
ペンもそろそろ
打ち止めな
気がするし……

……そうだが
専門のものが
あるじゃない
あれはいまの
大きさなら……

アレは寝る前に
つかったん
だから……
ベッドだ！

思いついて
すぐに机から
ベッドへと
飛び移る

……さっきは
乗るの大変
だったけど
ここまで大きく
なれば楽勝だね

……あつた
あつた

ベッドの
隅から愛用の
アナルパイプを
発見

寝る前に使ったん
だからそりゃ
同じ位置に
あるよね

じゃあこれを
使おうかなあ……
と思ったんだけど
その前にエロ漫画の
定番の奴、試して
みようかな





ドキ
ドキ
ドキ

パイプで十分満足してたつてもあるけどまだこぶしが入りそうもなかったって大きい

でも女神様の力も借りて徐々に拡げできた今なら行けるんじゃないかな……

フィスト……
ついに私もこれをやる時が来たのか

ヒク
ヒク

漫画では何度も見てきたけど……

きつと
いける……
よねっ!



おっ...

グッ

無理かなって
思ったけど
押し込んだら
吸い込まれる
みたいに...

はっ...
んっ...
はあああっ...

こぶしの太さを
ものともせず
結腸まで届いて
しまった

んっ、くうっ...
はっ、入っ
ちゃった...
手首まで
入るなんて...

女神様パワー凄
本当にアナル
拡がるし、伸びる
だからこぶしでも
結腸まで
きちゃった...

これって
結構派手に
動かしても
大丈夫って
ことなんじゃ...

そう思うと
思わず喉が
ゴクリと
鳴ってしまっ

じゃ、じゃあ
フィストビストン
やっちゃ
おうかなっ...



んはっ♡

カクンカクン

あっ!
ほんっ!!
ほおっ
おっ
おっ
おっ!!

すごっ……
私のこぶし
こんなところ
まで届いちゃっ
たっ……!!

あま♡

はあっ!
んっ!
はうっ!
んっ!!

ああっ
お汁で滑って
もっと奥に
いけちゃいそう

こぶし動かすと
ヌルヌル
止まらないっ……

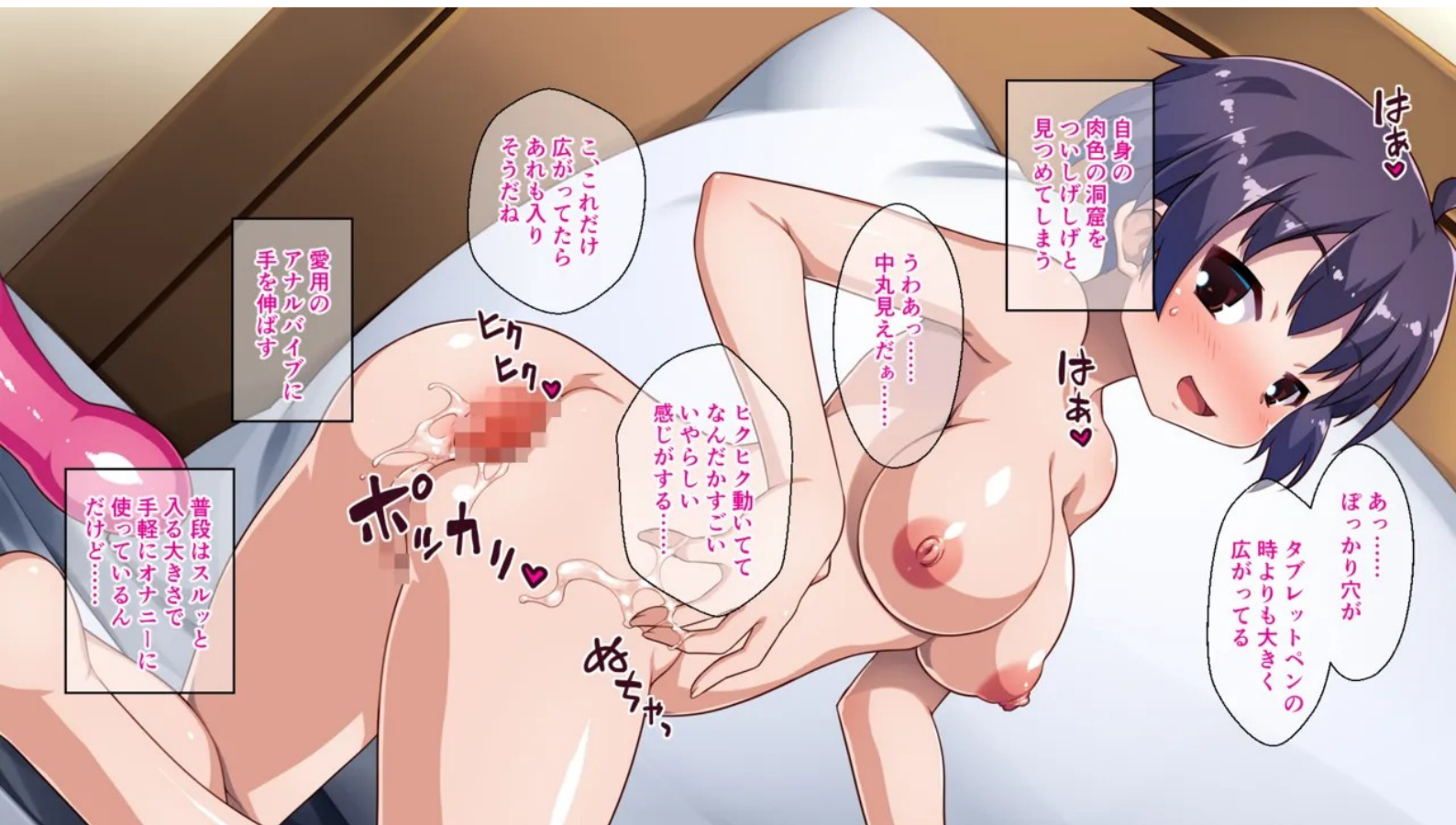
汁のおかげで
結構スムーズに
動かせた……

んんっ
ふうっ
はああっ……

じゅぽ♡

はあっ
ああっ
んっ……

そろそろ
抜いてみよう



はぁ♡

自身の肉色の洞窟をついしげしげと見つめてしまう

あっ……ぼっかり穴がタブレットペンの時よりも大きく広がってる

はぁ♡

うわあっ……中丸見えだあ……

ヒクヒク動いててなんだかすごいいやらしい感じがする……

こ、これだけ広がってたらあれも入りそうだね

愛用のアナルパイプに手を伸ばさず

普段はスルツと入る大きさと手軽にオナニーに使っているんだけど……

ヒクヒク♡
ホッカリ♡

ぬちゅ



ぐんぐん！

……
入ったら凄
い
拡がっちゃう
ね

それにこれ
パイプ
だから……

今の体で
この大きさの
パイプを入れた
状態で、スイッチ
入れたら……

体全体が
振動して……
大変だあ
……ふふっ

……入れる
からね

……はあっ
んっ、んん
んっ……！

流石に今の体の
大きさだと
手軽に……
ってサイズ
ではないね
でも
全然入らない
とは思わない

ぐんぐん！



はああああっ
おお、おおお
おおおっ……！

んまな♡

直腸をメリメリと
えぐりながら
パイプの先端は
S字結腸まで
到達した

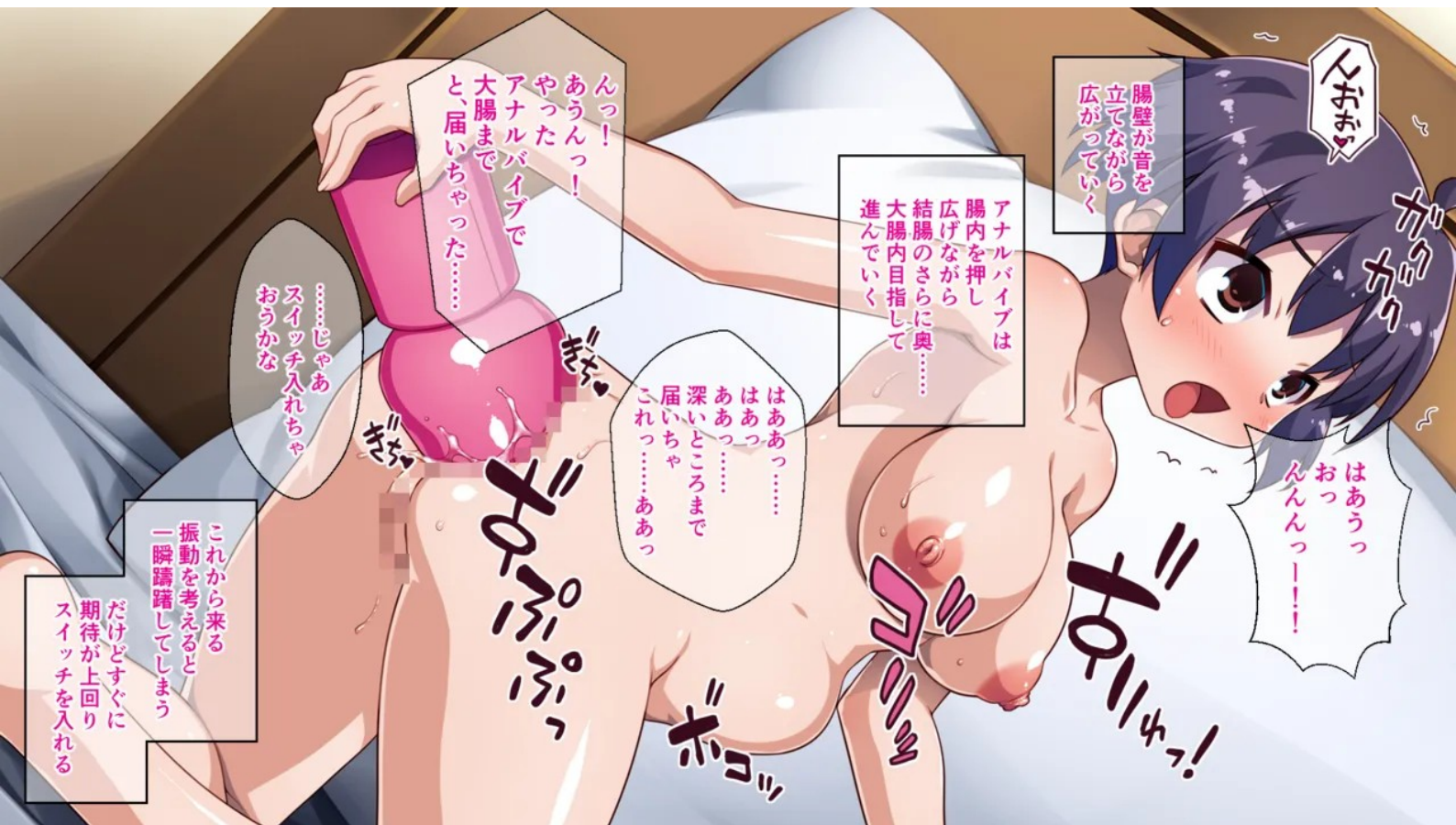
パイプを持つ手に
力を入れて
ねじるように
押し込んで……

でも……
まだ行ける
大腸まで
突き抜けるん
だから！

もう……
こんな一杯に……
んっ、ふううっ……

んっ
んっ♡

んっ
んっ♡
んっ♡



んんんん

かたかた

腸壁が音を
立てながら
広がっていく

アナルパイプは
腸内を押し
広げながら
結腸のさらに奥……
大腸内目指して
進んでいく

はあうっ
おっ
んんんっー!!!

はああっ……
はあっ……
ああっ……
深いところまで
届いちゃ
これっ……ああっ

んっ!
あうんっ!
やった
アナルパイプで
大腸まで
と、届いちゃった……

……じゃあ
スイッチ入れちゃ
おうかな

ぽんぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん!

これから来る
振動を考えると
一瞬躊躇してしまう

だけどすぐに
期待が上回り
スイッチを入れる



カリッ
カリッ
カリッ

中が……
パイプが……
動いて……
あああつ……!

んはあああつ!
ああつ
はああ
ああつ……!

す……
いいいっ!
体全体
振動に
包まれてっ!
はっ……
あつ……!

揺れてっ……
はああつ
あつ
かき回されて……
ひいっ
ひいっ……!

お尻が
グリグリって
削られてる
みたいで……

んっ
ひっ
ひっ
ひゅらっ……!

あああつ!
太いのが
大暴れして……
こんなの……
信じられないっ

ぶしゅん
ぶしゅん

グニッ
グニッ



びびびびびび

びびびびびび

振動で……
はああッ
パイプが結腸に
深く潜り込んでる
……はああッ！
ああッ！

愛用のパイプの
はずなのに

こんな刺激は
こんな振動は
体験したこと
無かった

あああッ！！
はひっ！
だめっ
お尻ブルブル
きてるっ！

結腸から
大腸までが
ブルブル
震えちゃって……
ああッ
腸内が
なんなのこれっ……

びびびびびび

ああッ
知らないっ
こんなに奥で
アナルかき
回されて……
震え止まらない……

もう
イクッ
私イクッ！

びびびびびび



はああっ
あっ
いっ、いっちやう

まおまお♡
おん♡
いっ、いっちやう♡

いっ、いっちやう♡

ああっ
腸液出ちゃってる……
こんなに一杯
私、潮吹いちゃってる
みたい……

あああっ
止まらないっ
イキながら
出ちゃうの
止まらないっ
!!!

いっ、いっちやう♡

ふうっ……
あんなに
イッたのは
初めてかも……

あの太さなら
また身体大き
なるかなって
思ったけど
その通りだった

……運動したからか
なんだかお腹
空いてきたなあ

そういえば
起きてから
拡張しか
してなくて
なにも食べて
ないや

ご飯食べよ……
台所にいけば
なにかあるでしょ
あ
そういえば
全裸だった

身体小さく
なったから
着る服が
ないからなあ

まあ
この時間なら
両親も帰って
こないだろうから
裸族でもいいかな

どうやら
お困りの
ようですね！

この頭に直接
響いてくる
声は……
女神様ですね！

正解です！
正解者には
ご褒美の
こちら！

急に目の前に
制服が……
これは？

着るものを
用意しました！

あ、ありがとう
ございます……
でもこれ

心配御無用!
こちら、身体に
合わせてサイズが
自動で変わるので!

ドゥン...

女神
ですから!

そう
それを言おうと
思ってたんです……
対策済みとは
流石ですね

なんか、声ただけだと
得意気に胸を張って
いるような感じが
伝わってくる……

ちゃんと拡張に
いそしんでいる
ようですね
感心です

見てたん
ですか?

もちろんです!
じっくりたっぷり
楽しませて
もらってますよ

恥ずかしいけど
楽しんで
もらえてるのなら
よかったです

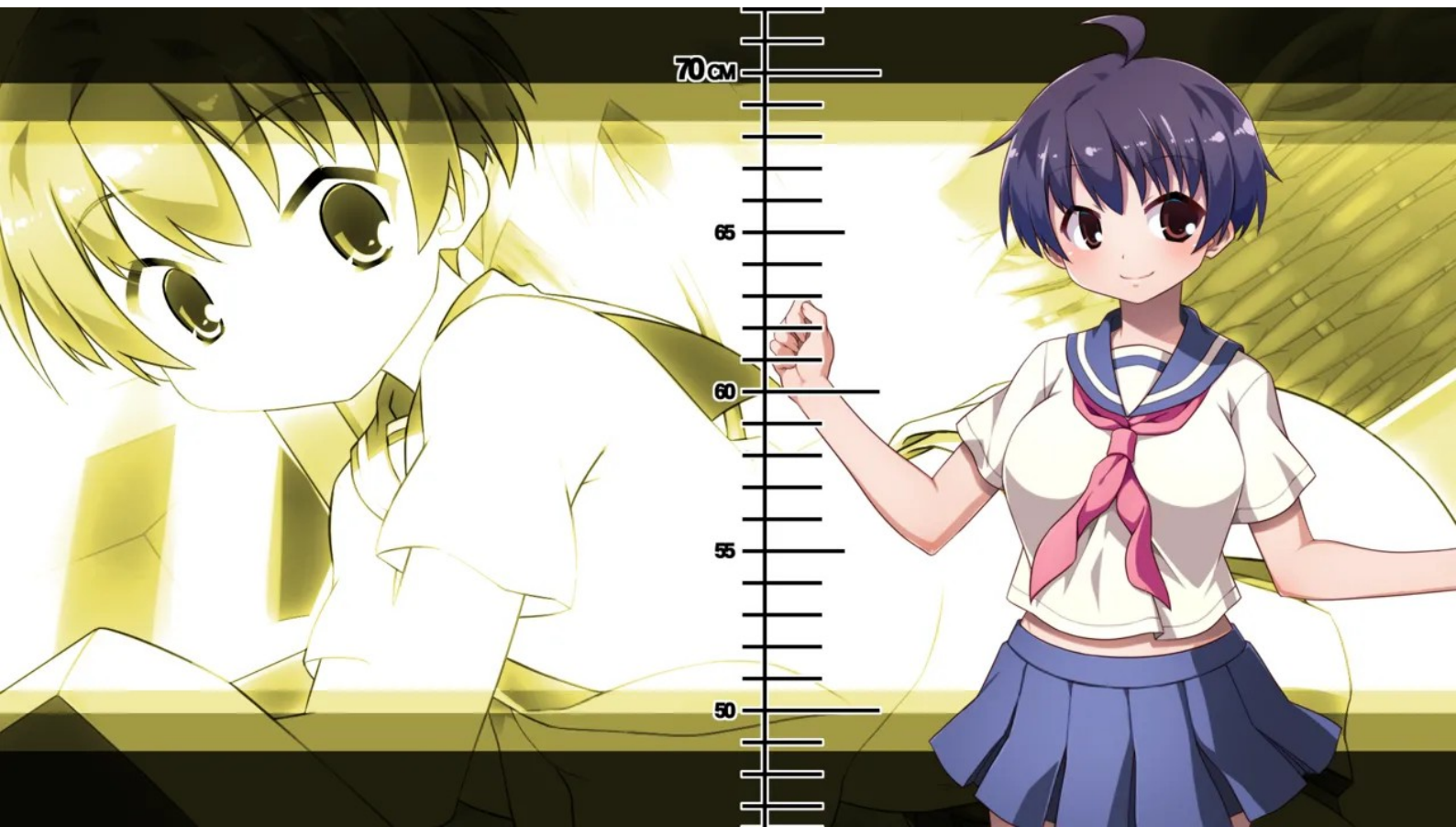
あ、はい
頑張ります！

これからも
期待してますから
拡張ガンバ！
ですよ！

返事後
女神の気配は
消えた

……さて
服も手に入れた
ことだし
着替えて台所
行こうっと







ふん

階段降りるのも
一苦勞……
というか体育の
授業並だった

身体が小さいと
台所まで来るのが
ここまで疲れる
だなんて……

ふうっ……
結構大変だった



……さてと
食べ物食べ物……
ってこれは？

テーブルの上には
野菜や果物が
入ったバスケットが
置かれていた

えーと
バナナ
リンゴ
ニンジン……

バスケットの中を
物色してみたが
なぜだか
ニンジンが
気になってしまう

これはさすがに
このままだと
食べられないなあ……

んー！

だけど
どうしても
これが気にな
ってしまっ

食べる以外の
用途で



お腹が減ってる
のも確かで
なにか食べたい
とも思ってるん
だけど

でも
どうしても
試したいと
思ってしまった

このニンジン
を入れると
どうなるのか

だって
手頃な大きさ
だと思っ
てしまったん
だから、仕方ない

とりあえず
入れてみるかな

ゴクッ



うーん
小ぶりの感じが
丁度いい

ぐり

ぐり

……ふふっ
ニンジン挿入
シチュエーション

こんなのも
あるよね……

まあ
とは言っても
今の身体に
入れるには
小ぶりとは
とても言えない
けどね

野菜を入れる
ってのは漫画で
何度か見た
ことある

ニんじん

んっ……じゃあ
パイプの次は
ニンジン
入れちゃおう
かなあ……



ズボッ♡

あああ
あああ
はっ
あああ
ああっ!!

入ってるっ!
ニンジン
結腸抜けて
大腸まで
入っちゃった……

べんべん

はうっ
ぐっ
んんんっ……

結構勢いつけた
つもりだけど
ニンジンが
こんな大腸まで
入るなんて
予想外……

ぐうっ!

ホッ

ズボッ♡



これって
やっぱり
女神様の
力だね……
ありがとう
女神様っ……

ふうっ
んはっ！

はあっ
あっ
あああっ……

はあっ
ふうっ
んんっ！

おぎん

ガク
ガク

……ここまで
動かしたら
結構広がったん
じゃないかな
……みてっ

……ふうっ
んんっ！

おぎん

おぎん

おぎん

おぎん



ほっ♡

ほっ♡

中がうねうねでヌルヌルで……見るからにもっと入れて欲しそう

どんどんいろいろなものを入れられるように拡げていかないと……

自分のアナルながらいやらしいっ!

ほっ♡
コポッ

ムロッ

今回も見事なほっ♡
……えへへ



そういえば
ニンジン入れて
気持ちよかったけど
結局お腹空いた
ままだった！

今度こそ
なにか
食べよう……

バスケットを
もう一度見る

バナナと
リンゴかあ

小腹を
満たすなら
やっぱり
バナナかなあ……

……結構
大きい
バナナね

さっきのニンジンと
対照的にこっちの
バナナはバナナ
としては大きめだ



ニニニ

……これ
入るかなあ

うーん
さっきも入れた
ばかりのはず
なんだけど……

でも
思ってた
しまった
……いい太さ
だなあ、と

目が
バナナの太さを
確かめるように
して動く

……くくり
喉が
鳴うて
しまった

ひゅん
ひゅん



ぐんぐん

女神様も
応援して
くれてるし……

やっぱり
大きいな……
でも、絶対無理って
感じはしないね

グワ…

うん…
大丈夫のはず！
入れちゃっても
いいよね？
いくよ！
入れちゃうよー！



ぽんぽん...

ふんっ
はあっ
んんっ

はっ、あっ
ふううっ

さすがに
太いから...
するつと入って
くれない...
はうっ

ぽんぽんぽんっ♡

でも、だんだん
直腸はいってる...
んっ、ふっ
ううっ

もっと
動かして...
んっ、ふうっ
ねじるように
少しずっ

はあっ...
ふうっ
S字結腸まで
来たっ

これをもっと...
んっ、奥へ...
ふううっ!

ん...あ♡

んん



んほおっ……
ほっ、おほおっ
おほおおっ!!

ぞんぞん♡

この形だと
やっぱり
入れにくいなあ……
けど……

……ぐうっ
反り返った
ところが
ひっかかって……

女神様の力が
あるから
多少の無理
したって大丈夫
なんだから……
ねっ!

思いつきり
動かし
ちゃうから……

むうっ
ぐうっ……
ふううっ!!

×リッ
×リッ

ゴッ
ゴッ

ポッ
ポッ

びくっ
びくっ

んっ、ぐうっ
ううううっ
むぐうう
ううっ……!!



んはっ
あっ
はああっ
ううっ!!
んんっ!!

ゴウゴウ♡
ゴウゴウ♡

ああっ
大腸ゴリゴリって
刺激すっ……
はあっ、んんっ
ふうっ……!

はああっ
はいっ……たあ!

引っかかったた
部分が腸液で
滑って大腸に
入ったあ……
はっ、おっ、ぐうっ!

ドスッ♡
ドスッ♡

もっと
もっと強くっ
激しくっ!!

あああっ
んんっ
ふうう
うっ!!

あっ!
ふうっ
んぐうっ!!

ガッ

ガッ



はああ
あーっ
あっ、あああっ!!
いいっ、いいの
これっ!!

ズボスポしながら
私イッちゃう!
はあっ、ふうっ
んっ!!

はっはっはっ
はっはっはっ
はっはっはっ

びくびく
びくびく

びくびく
びくびく

はっはっはっ
はっはっはっ
はっはっはっ



ふっー
ふっー
ふっー
ふっー
ふっー

すごい
気持ちよかった

まだお尻の奥が
震えてる
感じがする……

……絶頂後
気がつくと
また身体が大き
なっていた

バナナは
しっかりと
食べた

今のサイズだと
全部食べきるのも
なかなか大変だった



ふうっ
もうお腹
いっぱい……

……身体がすっかり
ドロドロに
なっちゃったなあ

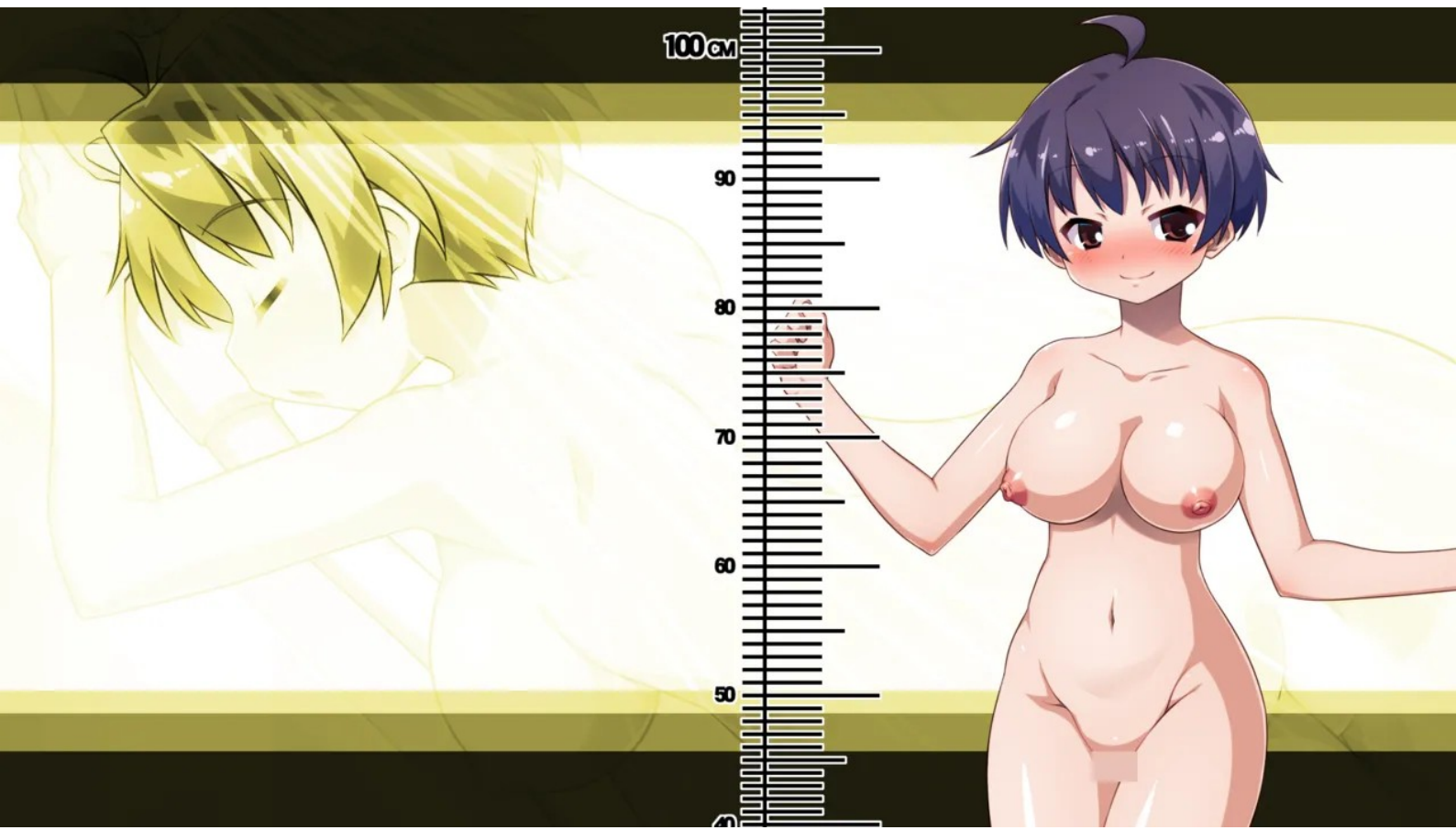
主成分は
腸液と汗だ

イキまわったせい
だとはいえ
あまり気持ちの
いいものではない

……シャワー
浴びよう

問題ないだろう
今の身長なら

……行ってらつと





結構ガビガビに
なつてたから
シャワー浴びる
ことができるぐらい
大きくなつて
よかつたあ……

ふうっ……
気持ちいいっ……

ニャ……

とか言いながらも
入れられるものを
探してしまうのは
もう癖だね

まあもう目星は
ついてる



今の私は小さい
子供くらいの
身長だ

こうやって
持ち上げるのも
大変な
コレなら……

ふうっ……
さっぱりしたー

さて
さっぱりした
ところで……
まずは……

フゥ……♡



これっ
浴びるときから
入れたらどうなる
かなって思っ
たんだよね

太さは最初
ただけけど
この形……

刺激が
凄いに
なりそう

縁を当てながら
ゆっくりと
アナルに
沈めていって
……と

わく
わく♡

じゅぽっ♡

はうっ！

思ったよりも
勢いよく入って
しまった

するりと
飲み込んだ
ホースが
アナルから
伸びてまるで
尻尾のようだ

ポコッと膨らんで
こんなところまで
シャワーヘッドが……
すごいよ……

はっ
あっ
んん……
ふうんっ！

そうだ
シャワーって
ことはお湯を
出せるって
ことだ

んひひ

こんな場所まで
達した状態で
お湯を出すなんて

あはっ♡

ポコッ

んんん♡



一体どう
なっちゃうん
だろう

大変な
ことに
なっちゃう
かも……

でも
これも女神様に
もらったチャンス
なのかもしれない

だから……
やっちゃい
ます！

私はレバーを
ひねった

「カッ」
「カッ」
「カッ」

「カッ」
「カッ」
「カッ」



おおっ……

ニハッ
ニハッ
ニハッ

お腹が
いきなり
熱くなった

温めのお湯が
大腸内に
注がれていく

なるべく
こぼれないように
括約筋に力を
いれてお湯を
受け入れる

んっ
ふうっ……
はあっ……
こんな……

お腹の中に
お湯が溜まって
いくなんて……
変な感じ

んっ
んっ

コッポッ
コッポッ

コッポ
コッポ



ふうっ
んんっ……
お腹が重く
なってる
気がする……

いや
気のせいじゃ
ないよね
こんなにお腹
膨らんでるもの

ニョッポッポッポッ……

ズルッ……♡

んっ……♡

ピリッ♡

んっ……
腸内に
どんだん
溜まって
きてる……

大腸で収まり
きらないお湯は
結腸や直腸の
ほうにまで
流れてきている
お腹がかなり
ポッコリ
してきた

アッ……



んっ……♡

お腹が重い
妊婦さんは
こんな感じ
なんだろうか

ああっ……
ううっ
ふううっ……

はああっ
お腹痛い

ちょっと
動かした
だけでも
膨らんだ腹が
重く揺れる

ううっ……
これ以上は
無理……

んっ……♡

バンバンに
詰まったお湯は
腸内を圧迫
し続けている

グッ……ッ

流し込み
続けている
お湯は腸の
どこまで
満たして
いるのだろうか

女神の祝福が
あるとはいえ
このままだと……

お腹が痛い
我慢してるけど
さっきから
出たくて
たまらない

ううっ……
はあっ……
ぐううっ……

ううっ
お腹のなかで
お湯がぐるぐる
暴れてて……

はああっ
ふうっ……
もう限界っ!!

声を上げながら
シャワーヘッドを
引き抜いた途端
肛門が一気に
決壊した





ふふふ……
肛門とお腹に
力が全然
はいらない……
穴広がりつばなしだ

はあっ、はあっ
はあっ……
ふううう……
はああっ……

ぐはぁっ♡
70w...

さっきまでずっと
力いっぱい抑え
続けていたせいか

大噴出した直後の
今は、力が入らず
直腸内がよく
見える空洞が
空いていた

はぁ♡

はぁ♡

大量のお湯で
膨らんだせいで
お腹の筋肉も腸壁も
ぐにやぐにやに
なってる……



これなら……
これならもう少し
大きいものでも……
奥までいける、よね

私はシャワーの
そばに並べてあった
シャンプー
ボトルを掴む
家族用の大型ボトル
だからなかなかの
大きさだ

と、そんなことを
考えながらも
ぽっかりアナルに
あてがうと
ゆっくりと
押し込んだ

んんんんん

ぞろぞろ...

ふぐうっ...
んっ
むううっ!!

すごい...!!
お湯で伸びきった
腸が簡単に
のみこんでいく...

ぐうっ...
ううっ...
ううっ...

もう直腸の先まで
ぶっといので
パンパンに
なってる...!!
ふうっ、ふうっ...

×リ
×リッ

ん...♡

ぶん

はぁ♡

太くて堅いものが
肛門から
突き上がってる

中へ挿入して
いくと
腸内を広がり
襲が引き
伸ばされていく
感触がある





全部のみこん
じゃいそう
大丈夫かなあ……

もし手が届かない
所まで入ってボトルが
取れなくなったら……
ううん
きつと平気だよね
女神様パワーなら……

だから
んんっーっ
ふうううっ!!

アナル拡張を
続けられるなら
取れなく
なっても
構わない!

そんな気持ちで
ボトルを押しこむと
大きい湿った音を
立てながら
中に吸い込まれて
いった

キラッ♡

プル
プル

んぎん……

ぐぐぐぐ

はああっ
あっ……
入ったあ……

シャンプーボトルの
先頭が結腸に
到達した

結腸にまるごと
収まってる……
信じられない
けど事実だ

これ、すごいっ
ボトルが全部
入ってるのが
わかる……

広がる感覚が
ゾクゾクする

お腹もボトルの形に
盛り上がり
そこに異物が
入っていると
いうことを
否応なく
自覚させる

くもぢ……♡

フー♡

ボッコッ

ドボン♡



不思議なことに
まだ奥まで
入りそうな
気がしていた

んんっ、ふうっ
はああっ……
こんな大きいの
入っちゃった
……だけど

相対的とはいえ
今までは入れられ
なかったような
太さのものを
入れて、一気に
アナル拡張を
してきた

その経験が
告げていた

またいける
奥までいける
はずと

だから私は
さらにリンスの
ボトルを掴んだ

フー……

フー……♡

「んんっ……♡」

「グリュッ」



うわっ♡

べしんっ

べしんっ

ひっ、ひっ……
大腸のシャンプーが
リンスに押されてる
はあっ、あっ
……深いっ

奥に来てるっ
ほあっ、あっ
グイグイ押し
込まれて……
はあっ、ううっ

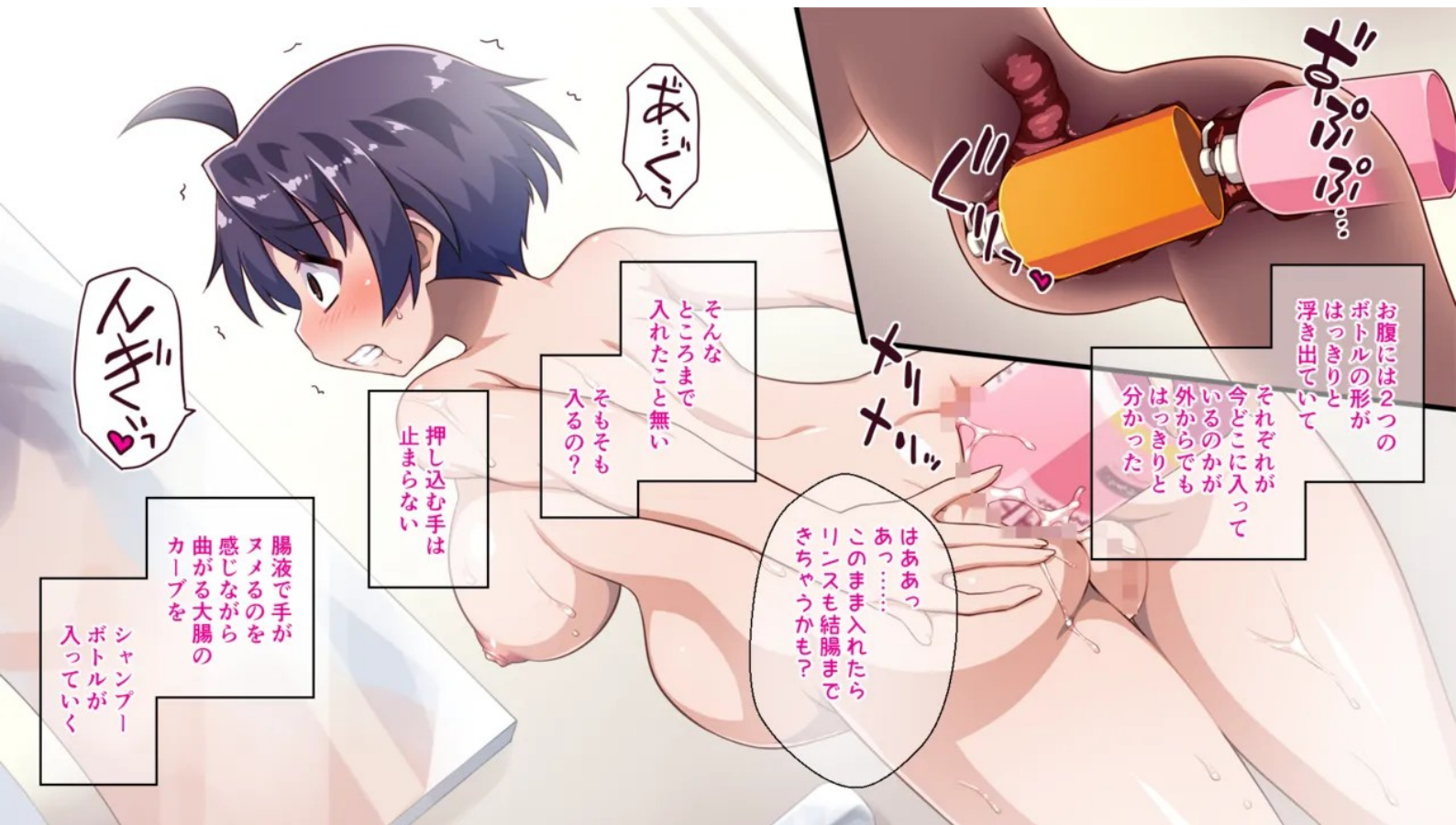
ふっ
ふおおっ……
おっ
ほおうっ……

おのぶっ……♡
ボッッ

んんっ
ほおっ
おっ……
ふうっ
んんんーっ!!

すでに入ってる
シャンプーボトルの
底に同じ重さの
リンスボトルを重ね
押し込んでいく

ぐいっ♡



ぎゅ

んぎゅんぎゅん

お腹には2つの
ボトルの形が
はつきりと
浮き出ている

それぞれが
今どこに入っ
ているのか
外からでも
はつきりと
分かった

はああっ
あっ……
このまま入れたら
リンスも結腸まで
さちやうかも?

そんな
ところまで
入れたこと無い

そもそも
入るの?

押し込む手は
止まらない

腸液で手が
ヌメるのを
感じながら
曲がる大腸の
カーブを

シャンプー
ボトルが
入っていく

びゅんびゅん

シリシリ



ズキンズキン♡

びくっ

びくっ

この刺激が
すぎて
もう、感じ
まくって……



あああっ
はあっ……
入っちゃった
はあっ
ああっ……

さっきから
腸内の刺激が
頭まで突き上げて
たまらない
腸内をえぐり抜け
ついにリンスも
大腸に入った

ズキンズキン痺れて……
はっ、あっ……
刺激すっ……

2つのボトルが
腸壁をゴリゴリに
抜けて……
はあっ、ボトルの形に
変形してるよう……
はあっ
くああっ
むうううっ……

刺激が頭を
スパークさせる
もう限界……

肛門の力が緩み
ボトルが逆流
していった

ズパー……

……アレだけ
やったら
それは大きく
なるよね

これって
元の大きさに
戻った……
ような気がする

視点の高さや
ボトルを掴んだ
ときの感覚も
普段通りだ

おそらくは
元の身長
だろう

元通りと
いうやつだ

……まあでも
確実に違っている
ところもあるん
だけだね

それは勿論
アナルの拡張
度合いの話だ

ミニプラグに
始まって
シャンブー
ボトルまで

その時々の
アナルの
限界を越えて
拡張してきた

女神様の言葉を
信じるなら
今の私のアナルは
いろいろなものを
入れて楽しむことが
できるように
なっているはずだ

へへへ……

漫画や
ゲームで
見た色々な
もの

どれを入れても
いいのだ

どうしよう
ワクワクする

何いれ
ちゃう？

……やっぱり
アレ入れちゃう
かな？

前から気に
なっていたし
試すには
丁度いい

ようし……

風呂から出た私は
冷蔵庫からアレを
取り出して
居間へと向かった







私のアナル
もうこんな
開いちゃって

はあっ……
空気が
流れ込んで
スースーする……

それにしても
ここまで広がる
なんて思わ
なかったな

はぁ
はぁ
はぁ

はっ
はっ

昨日は
アナルパイプで
十分満足な
大きさが
あったの
が信じ
られないよ

……今日一日の
体験が濃厚
すぎる……

さあ
チャレンジ
タイムだね

ぐにっ♡

冷蔵庫から
取り出した
アレを掴む



いつも冷蔵庫
開ける度に
考えてたん
だよー

漫画や
ゲームでも
見たこと
あるし

大型の
ペットボトルを
アナル挿入する

みんな同人だけど
そういう
シチュエーションの
ものは何回か
見たし、かなり
興奮したものだ

やってみたい
とは思って
たけど、たぶん
無理だっで
考えてた

わく
わく

ぎゅっ♡



……あんな
太いのは
私のアナルの
大きさじゃ
どう考えても
入りっこ
なかったから

キャップの方から
入れても
いきなり太くなる
ところで、アナルが
限界を迎えて
避けてしまっ
て
いただろう

でも今の私には
女神様がついて
いるから……
いけちゃうんだ

ペットボトルを
片手で掴んだ
その手に
力を入れる

ドキ

ドキ

ぐり



んんんっ♡

びびっ♡

んんんっ!
ふう……
んんんっ!

片手でアナルを
伸ばし
受け入れる
準備を始める

女神様のパワーで
レベルアップ
してるからなのか
大ききから
想像していた
以上に簡単に
入っていく

はああああっ……
ふっ、ふうっ……
んんんっ……

引き伸ばされ
丸い形になった
アナルに押し
込んでいく

やっぱり
大きいなあ……
でも入る
気がする……
ふうっ……

んんんっ♡

んんんっ♡

はあっ
ふうっ……
ふうっ……
ふうっ……

腸壁の隙間を
感じながら
ぐっと押し込んで
いくと
ペットボトルは
奥へと進む

あん♡

はああっ
あっ……
ふううっ

先端部を越え
一番太くなって
いる部分も
腸内に収める
ことができた

ずいん♡

……覚悟していた
よりもあっさりと
入った感じだ

今は女神様の
加護があるから
まだまだ
余裕ありそう

じゃあ……
もう一本
行っちゃおう
かなっ！

んげ♡





2つペットボトルが
並ぶと太いな……
圧を感じてしまう

ふふっ
すっごい……

これが本当に
入るの
かなあ？

……いや
入るはずっ！

アナルの端を
ぐっと引っ張り
隙間をつくる

一気に……
んんんっ！

んんんっ♡

んんんっ♡

ガキャ
ぐいっ♡



お本っ♡

はあああっ……
んっ
ふううっ!!!

お腹に浮き上がる
ペットボトルの
形状が、さらに
奥へと入っていく

その横に
寄り添うように
して新たな
盛り上がり
できていく

ポッコリと
盛り上がった
お腹

アナル裂け
ちやいそう……
でも、裂けて
ないから……
まだ平気っ!!!

はあっ
ああっ……
はひいっ……

同じ腸に入れて
いる以上
当然、一本目よりも
二本目のほうがキツイ

んんっ♡
むうっ
はあっ……
女神様っ……

んんっ♡
むうっ
はあっ……
女神様っ……

痛いのか
気持ちいいのか
わからない刺激を
浴びながら
挿入を続けていき
そして

はああつ
ちゃんと
入っちゃった
2本並ん
じゃってる……

双子山のように
盛り上がる
お腹を見る

こんな大きいのが
私の大腸に
入っちゃって
るんだ……
すごい……

ペットボトルが
飛び出した
私のアナル

じっとしている
だけでも
腸壁が引っ張り
続けられて
ジンジンと熱い

これだけでも
凄いです
動かしただけ
もって凄いですね……

私は外に残った
ペットボトルを
抱え込んで
貫くように
動かし始めた

ぐわん……♡

ぐわん……♡





あぐうっ
ぐっぐうっ
ううっ!!

はあああっ
これ、何なの
これ……はああっ
あっ、あうううっ!

ガッ
ガッ

私のお腹の中で
ペットボトルが
暴れてるっ!

あはあっ
あっ、動いてっ
ああっ
また中……
びっ、びっ!!

ペットボトルが
交互に動いて……
はあっ、ああっ
どんどん入って
きちゃうっ!!

ぐうっ
うっ、うぐっ!
こんな長くて
太いの……
入っちゃうっ

全部腸内に……
はいつて
きちゃうっ!!

ニ
ニ

ニ
ニ

はあっ、あっ
ふうふううっ……
すごかった……
あんなこと
実現できちゃう
だなんて……

女神様には
本当に感謝しか
ないね……

はま♡

はま♡

そういえば
これで終わりって
ことなのかな？

きっと見えて
くれているはずと
心のなかで女神様に
最大限の感謝をする

元の体の
大きさにも
戻った

その体で
今までとても
できなかった
大きさのものも
入れた

祝福は……
まだ残ってる
みたい

Lin♡
Lin♡

溢れ出る腸液も
信じられないほどの
柔軟性を見せる
腸壁も、括約筋も
そのままだ

ということとは
もしかすると……

この状態でさらに
拡張したら一体
どうなるのか？

前は体が大きく
なっていたけど……
元の大きさに
戻った今は？

気になったら
確かめたく
なっちゃう
よね……

私は手を握り
アナルへと
伸ばしていった

ぞくぞく♡

びびり♡

くちゅ♡

くちゅ♡



はああ——っ
あっ、はあ
ああっ!!

んっ
ふうっ
はああっ!!

ズ
グ
グ
グ

もっ
もっ
奥まで……

はああっ
あっ
はああっ!!

ふうっ
はあっ
んんんっ!!

ズ
グ
グ

ズ
グ
グ

グ
グ
グ



このまま
動かして……
もっと広げて……

ぎゅん♡

はああああっ
うんっ……
ふううっ……
まだまだだっ……

んっ
ふううっ……
結構広げたと
思うんだけど……
まだ、大きく
ならないの？

ぎゅん♡

はあっ
ひいっ
ふうう
ううう……

ぐんぐん♡

シリシリ



あつ、落ち
ちゃった……

ここまで
広げても
まだ駄目
だった？

フー！

いや、まだ
わからないよね
太いものって
まだまだあるし

私は考える

フー！

もっと
太いもの
今でも無理かも
って思うもの

……こう
なったら
アレしかない

それとも
やっぱりこれで
打ち止めて
ことなのかな？

ズルンッ♡

お気に入りの
CG集で最後に
していた
アレを挿入する

そうすれば
きつと



アレは……
確か、公園に
あったよね……

フウ……♡

行かないと……
入れて
確かめないと……

もうアレを
入れる
しかない
すぐにでも
なにかが私を
駆り立てる

急いでもう一度
制服を
着込んだ私は
アレがある
公園へ向かった

あった……

この前を
通るたびに
思い出してたん
だよねえ……

初めて見たのは
ダウンロードで
買ったCG集
だった

絵が気に入って
普通のエロCG集
だと思って
買ったたら
全然違ってた

外にあるいろんな
ものに女の子たちが
またがって
挿入していく
アナル拡張
CG集だった

そのCG集の
最後のシーンが
この車止め

女の子の一人が
恍惚の笑みを
浮かべながら
車止めをアナルに
ずっぼり挿入する
というもので……



すっかり
お気に入り
なっちゃった

初めて見たときは
信じられない
ありえないって
思ったんだけど
ずっとその
シーンが頭から
離れなくて

ジャンルを
調べるうちに
アナル拡張
ものが好きに
なっちゃって
自分でも実践
するようにな
っちゃった……

いわば
すべての
始まりが
この車止め

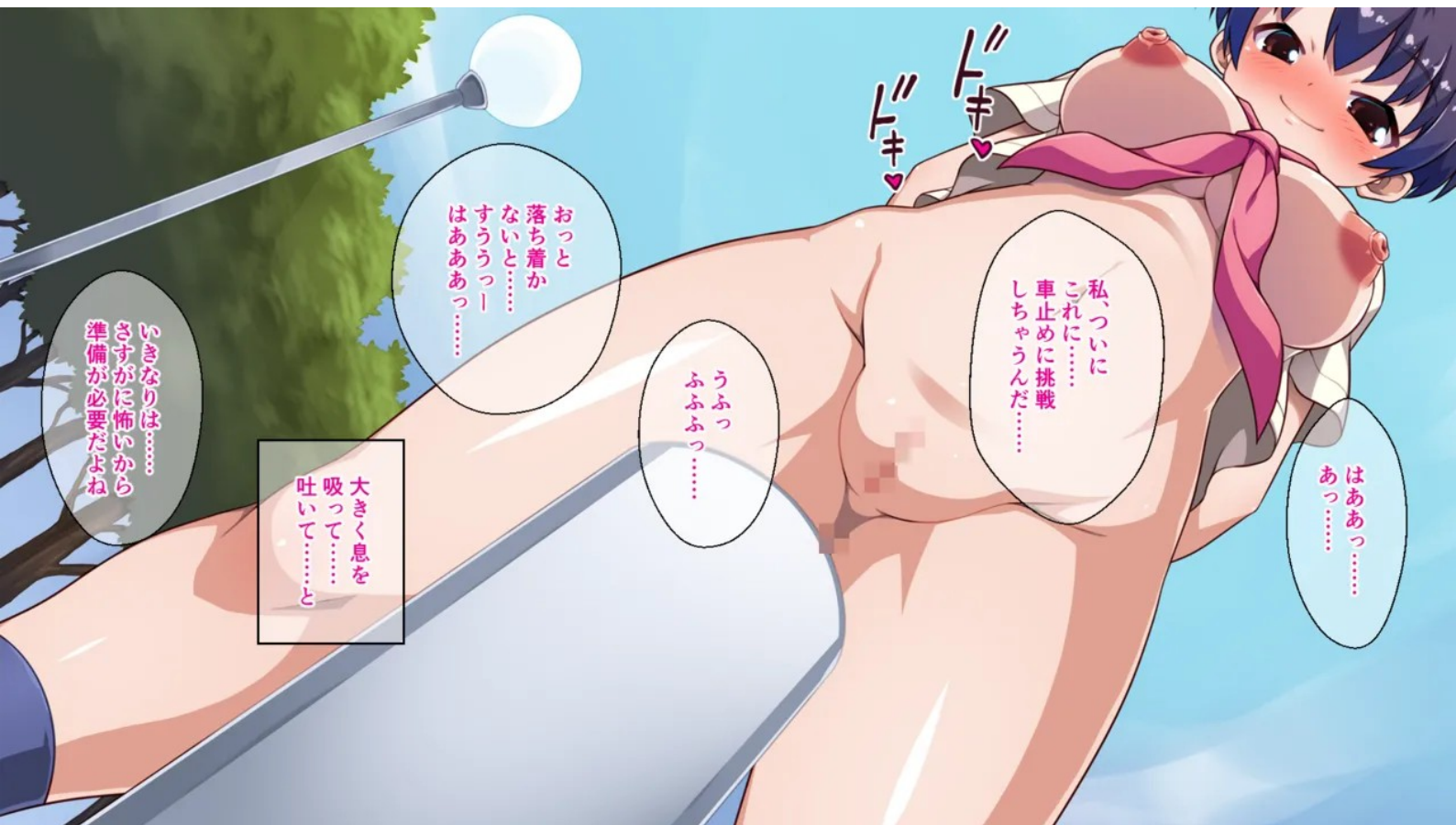


何回も前
通ってるけど
そのたびにこれ
入れるのなんて
自分には無理
だって思ってた

あんなに入るのは
絵の中のこと
だからで
実際は入ら
ないんだって
決めつけて
諦めてた

でも……
今なら
今なら入る
のかも

女神様が力を
貸してくれ
たのは
今このため
だったのかも
しれない……



ドキ
ドキ
ドキ

私、ついに
これに……
車止めに挑戦
しちゃうんだ……

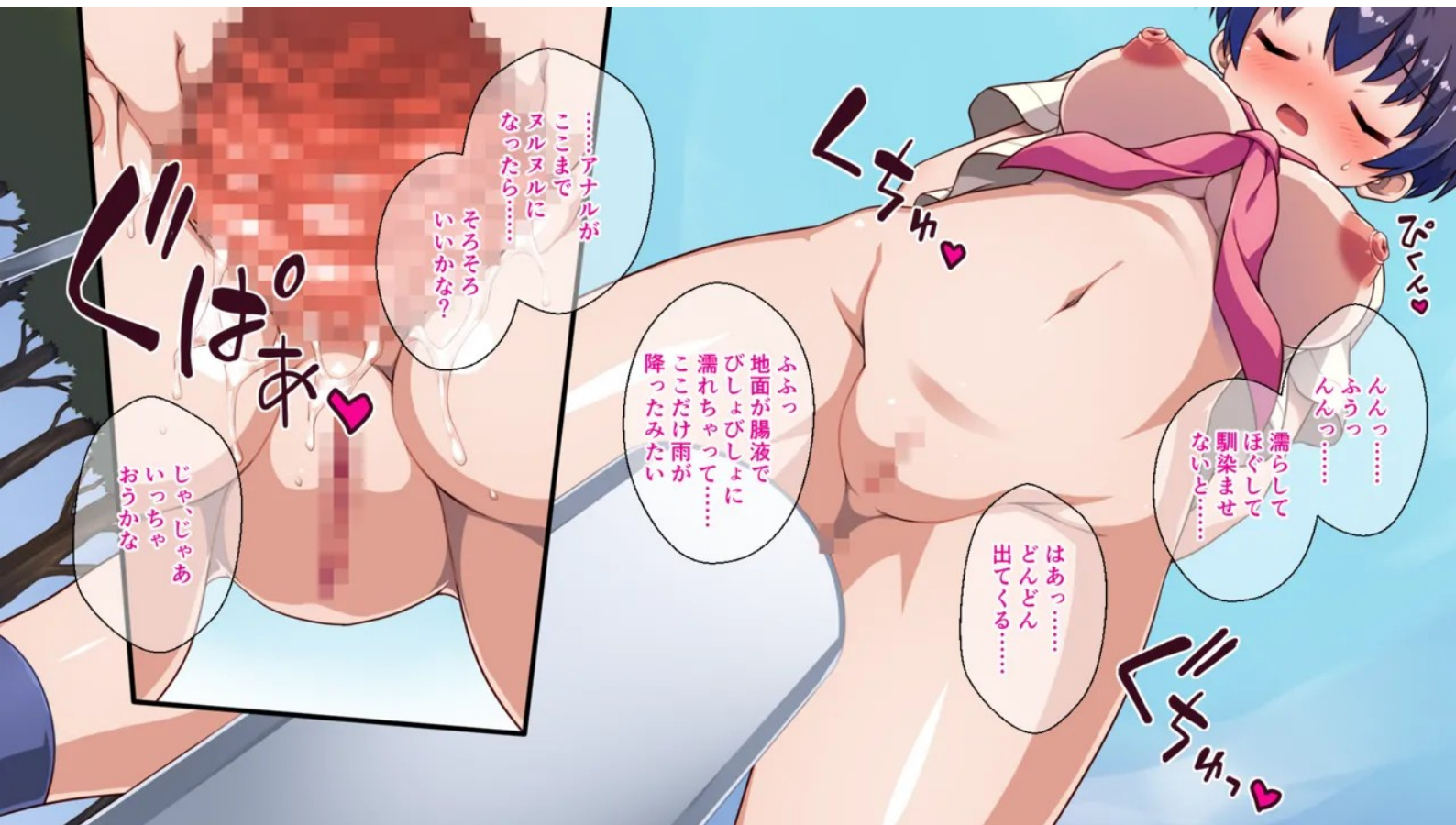
はああっ……
あっ……

うふっ
ふふっ……

おっと
落ち着か
ないと……
すうっ……
はああっ……

大きく息を
吸って……
吐いて……と

いきなりは……
さすがに怖いから
準備が必要だよ



ぐはぁ♡

じゃ、じゃあ
いっちゃん
おうかな

.....アナルが
ここまで
ヌルヌルに
なったら.....
そろそろ
いいかな?

ふふっ
地面が腸液で
びしょびしょに
濡れちゃって.....
ここだけ雨が
降ったみたい

はあっ.....
どんどん
出てくる.....

ふんっ.....
ふんっ.....
濡らして
ほぐして
馴染ませ
ないで.....

ぐちゃ♡

ぐちゃ♡

びくん♡



びく、
んっ……
はあ……
んんっ……

結構冷たいし
ゴツゴツ
してる

は、入って
きた……

ああっ……
はああっ……
さすが車止め……
こんなに拡がって
きちゃうんだあ……

ううんっ……
ふううっ
んんっ……
まだ少し入ってる
だけなのに
はあっ、ううっ……

んんっ……
ふうっ
はああっ……
女神様の力でも
もしかしたら
裂けちゃうかも……

ここまで拡げて
きたんだから
きつと大丈夫
だから

もっと
受け入れて……
すうっ……
はあっ……
締め付けを
緩めて……
ふうううっ……
んん……
んっ……

はっはっ……

××××

はっはっ……



ぐわんぐわん♡

ぐわんぐわん♡

ぐっ……
はっ……
はあああ……

きたあつ……
太いのが……
はああつ……

カクカク
カクカク

ここまで
来ると……
入ってきでる
って感じが
するね

ズルズル……!!

肛門と直腸が
ゴリゴリに
擦れてっ……
はああつ……
太いの……

シリシリッ

はあっ……
はあっ……
んんっ……
ふううっ……

まだまだ……
入るん……
だから……
もっ……
奥までっ……
ぐううう……!!



びんぎん

はあ〜っ
ああああっ……
これはっ
あっ……
すごいっ

一気に突き抜け
ちゃった……
結腸のカーブが
真っ直ぐに
なっちゃって……
はああっ……

はあっ
お腹すこいっ
串刺しみたい
見えてそう……
はあっ……
ああっ……

CG集で
見たのと同じに
なってる……
ふうっ
んんっ……

はあっ
大腸までの道が
真っ直ぐに
なっちゃ
ってる……

ボコボコ
ズラズラ……



はあっ
あうっ
んんっ
ふううっ
あううっ!!

ムキムキ♡

ムキムキ♡

ふう、ふううっ
車止め最高お……
はああっ、こっ
あひいっ!

ムキムキ♡
ムキムキ♡

これ凄いつ……
太いのが
ゴリゴリ削って
気持ちいいっ
ひっ、ふううっ

ムキムキ♡

ムキムキ♡
ムキムキ♡

こ、こんなの
何度も出入り
させてたら
お尻バカに
なっちゃう
かもお



ガクッ
ガクッ

でもっ、でも
止められ
ないっ……
もっとゴロリゴロリ
したいっ
はあっ!!

おっ
♡

おっ
♡

あひっ、ひっ
ひゃあっ
はあっ
あひいっ!!!

ふああっ
あひっ、ひっ
ひうっ
んんっ……
ふあああ
ああっ!!

ゴッ
ゴッ
♡

ゴッ
ゴッ
♡

×リッ

×リッ



びんびん♡

イクッ♡
はひひひひひ
いいいいいい♡
♡

びんびん♡

はあああっ
一杯出ちゃ
ってる……

はあっ
あああっ……
イキすぎて……
はあっ
止まらない
のおあっ!!

ズッしかあああ♡

コホッ

あはあっ……
体大きくなった……
元の大きさが
限界じゃ
なかったんだ！

周りの家から
比較しても
自身がかなり
大きくなった
ことがわかった

2メートル
いや
それ以上
だと思っ

これなら
までよりも
もっと凄いものを
挿入できる……
やったあ！



誰も入れた
ことのない
ようなものが
入れられそう……

探そう！

あああつ
視点がすごい高い……
電線とかに当たら
ないように気を
つけないと……

冷静に考えて
みれば、普通に
生活のできる
サイズでは
なくなつて
いたことを
心配するべき
だったんだろう

だけど、私はもっと
大きなモノを
入れられる
そしてもっと
気持ちよくなれる
そのことに
夢中になっていた





何が
あるかな……

この体の大きさ
だともう
車止めは余裕だ

アレを超える
もっと太いもの

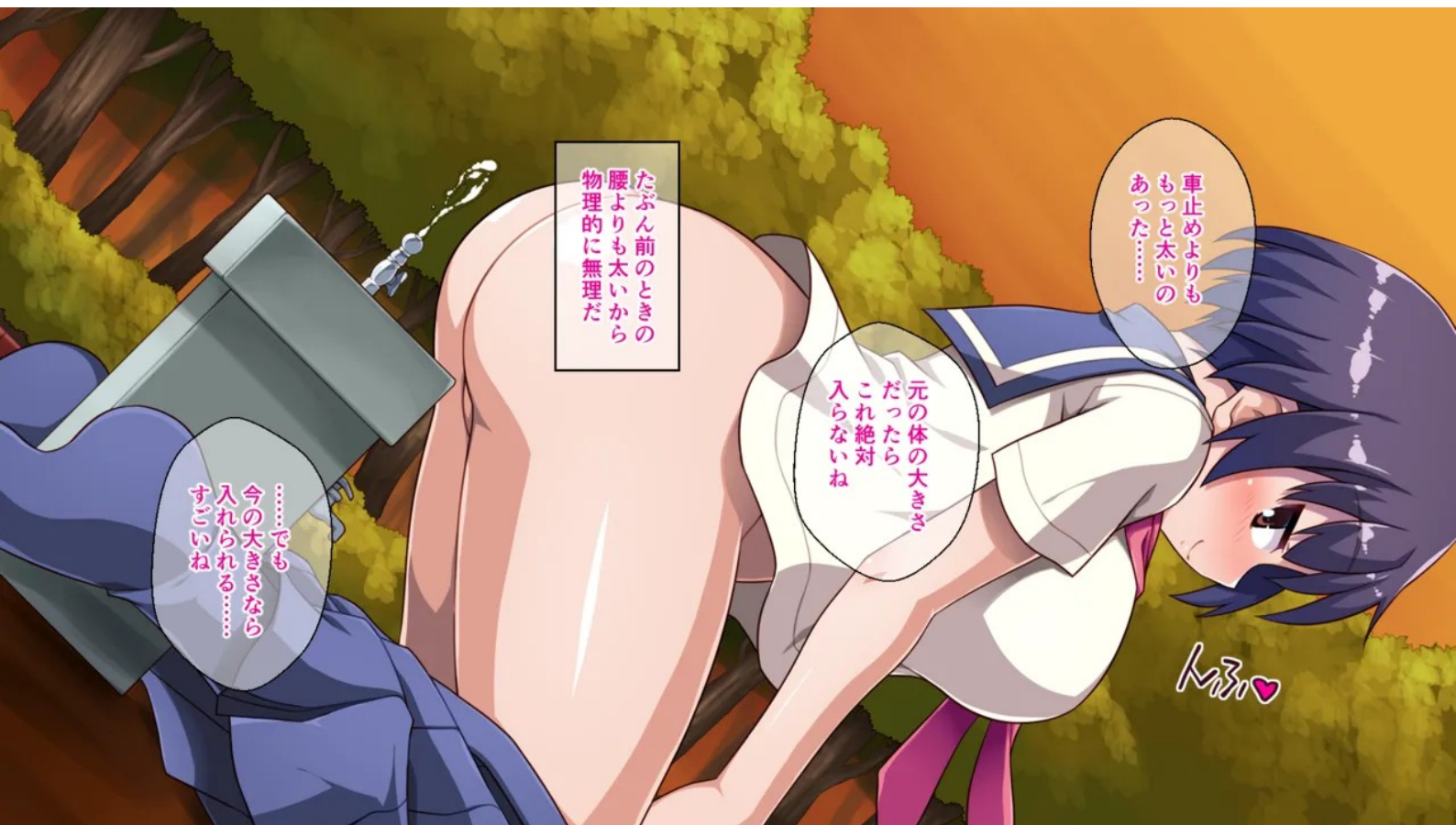
さすがに今まで
読んだり見たり
してきた漫画や
CG集でも
ここまでの状況の
ものはなかったから
参考にならない

自分で
探さないと
……あつ

周りを見回し
ながら
ゆっくりと
歩く

今までと逆に
世界が小さく
なったような
感じがしてしまう

公園の端に
丁度いいものを
私は見つけた



たぶん前のときの腰よりも太いから物理的に無理だ

車止めよりももっと太いのあった……

元の体の大きさだったらこれ絶対入らないね

……でも今の大きさなら入れられる……すごいね

んん♡



その後は
この体を
どうすれば
いいんだろう？

というのは
正直頭の隅に
引っかかっている

だけど
今はこの水飲み台が
入るのか、入れたら
どんな感じなのか
のほうか私の中で
重要だった

さっきので
まだ濡れてるから
そのまま入れても
大丈夫ばい

水は……
出せばなして
いいかな
シャワーのとき
みたいに



はああつ
ああつ……
入ってる……
ふうっ
んんっ……

こんなモノが
入ってるなんて
すごい……

今まで見てた
やつでも……
こんなにに入れてた
女の娘
いなかったよね

ふうっ
ううっ……
ゴリゴリって
腸壁擦れて……
はあっ、ああっ……

はああつ
ああつ……
中からの
圧迫がすごい……
はああつ……

んんっ
ふうっ
はあつ……
奥まで
来たあ……

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



んっ、なんだ女の子がしゃがみこんでる?

大丈夫か?

急病か? いや、ここからじゃよくわからないな

え、なにがあるの?

さっ...

はあっ んんっ... 気持ちいいっ... んんっ?

なんだか周りが騒がしい
いつの間にか人が集まっていた

喘いだりしていたのを聞きつけたのだろうか?

きゅっ♡



ん？
可愛い普通の
女の子じゃ……
いや、たしかに
でかいなあ

あれ？
あの子
なんか
でかくない？

トッ
トッ

しゃがみこん
でるから
ぱっと見わから
なかったけど

立ち上がったら
きつと俺達よりも
全然でかいぞ

ひっ、この子
大きすぎ……
それに
何してるの？

何かを……
入れてる
の？

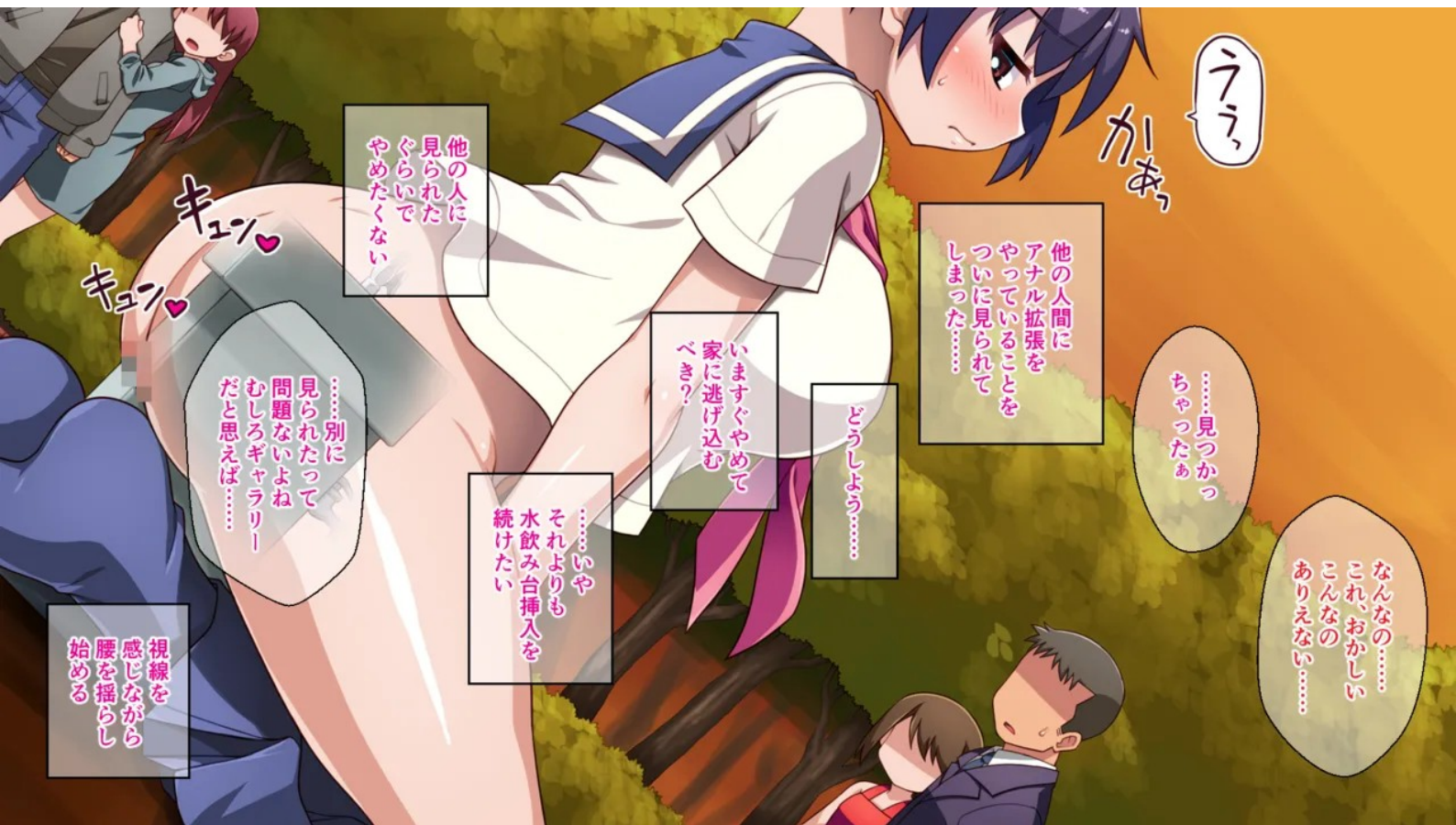
なんだあ？
……ひっ

近寄ったら
マジでかい
3メートルぐらい
ありそうだし……

いや、それも
やばいんだけど
この子、尻に
水飲み台
突っ込んで
ないか？

え、そんなこと
あるわけ……
マジだあ……

ヒッ



うう

かき

他の人間に
アナル拡張を
やっていることを
ついに見られて
しまった……

……見つかった
ちゃったあ

なんなの……
これ、おかしい
こんなの
ありえない……

どうしよう……

いまずぐやめて
家に逃げ込む
べき？

……いや
それよりも
水飲み台挿入を
続けたい

他の人に
見られた
ぐらいで
やめたくない

……別に
見られたって
問題ないよね
むしろギャラリ
だと思えば……

視線を
感じながら
腰を揺らし
始める

キュン♡
キュン♡



くおっ♡

あはあっ
あっ……
ふうっ……
腸液がジュブ
ジュブいつてるっ
……んんっ
ふうっ

水飲み台
突っ込んで
腰を振って
いるって……

な、なに
やって
るんだ……

あはあっ……
みんな私を
見てる……
こういうのも
興奮して
きちゃうね……

トキキッ♡
トキキッ♡

やっぱ身長
でかい……
こんな子
この辺に
いたか？

私、いろんな
大きいものを
入れてたら
大きくなっ
ちやっただんです

きんっ

トキキッ♡



は？
そんなこと
あるわけ
ないだろう

はっひ

かぐ

ひっ……
は話し
かけないでっ！

そんな悲しいこと
言わないで……
ほら、見て
ください……
あなたの腰回り
よりも太いものが
アナルを出たり
入ったりして
るんですよ……

ほ、ほんとうに
入ってる……
信じられない……
なんなの……
どうなって
るのこれ……

本当ですよ……
普段の私は
小柄な女の子
そのあなたよりも
全然小さいですよ？

コリコリユツッ♡

かぐ

コリコリユツッ♡

コリコリユツッ♡



あっ!
はあああ
水がっ……
ああっ!

中で水道が
壊れて……
ああっ、水の勢いが
凄いことに……

この子のお腹
膨れてきて
ないか?

本当だ
どんどん
大きく
なって……

はあっ
ああっ……
水飲み台で
ビストン
してたら

水道管が
壊れちゃった
みたいで……

……今膨らん
でるの
ほとんど
水ってこと?

バキ
バキ
バキ

びしょ

く
く……



んっ……
ふうっ
ふうっ
そう
ですね……
はああっ
水圧でも
拡張され
ちゃいます……

いや、まずいだらう
早く抜いたほうが
いいんじゃないか？

そうだよ
このままだと
大変なこと
なるよ……

平気ですよお……
私には女神様の
加護があるん
ですからあ

危ない
でしょ……

……なに
いってんだ
あんた

それに、んんっ……
はあっ、ああっ……
もうちょっとで
イケますからあ……

はあっ、あっ
あうんっ！

はっしゅっ♡
はっしゅっ♡
はっしゅっ♡

んんっ
んんっ



うわっ
腰激しく
振り始めたぞ！

やめろって
腹パンパンに
なってるぞ！

ああっ、あんっ
ふああっ……
ゴリゴリ削れてえ
水もお……

はああっ、んっ
肛門から大腸まで
こんなに
広がっちゃって
……ああっ
最高っ！

ああっ、はあっ
腰とまらないっ
もっと、ゴリゴリして
気持ちよく……

あんっ、んっ
いっ、イクッ
イクところみんな
見てえええええ
——っっ！！

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ



はああっ、ああっ
イツチャウ
でちゃう!
もう限界っ!

はあっ、あひっ
はあっ、あひっ
はあっ、あひっ
はあっ、あひっ
はあっ、あひっ
はあっ、あひっ

あああああっ
気持ちよくて
お尻全然
閉じないのおお
おうっっ!!!

うわっ……
俺たちが
見る前で
いきやがった……

尻の穴から
噴水みたいに
水吹いてるぜ……

見ろよ
顔蕩け
きってるぜ……

もう意味
わからない……
悪い夢でも
見てるみたい……

びくっ、びくっ

びくっ、びくっ

がく、がく

びくっ、びくっ

……あはあっ
すごかった……

もう、ここまで
大きく
なっちゃったら
もとの暮らしには
戻れないね……

……あれから
女神様の声は
聞こえない

想定より大きく
なってしまった
せいか
制服も破れて
しまった



願いを叶えた
からなのか
元の大きさを
越えて大きく
なったせいで
見捨てられたのか
それはわからない

だけど
重要なのは
まだ加護が残って
いるということ

もっと大きく
なれるし
もっと太いものを
入れてアナルを
拡張できると
いうことだ

だから、もっともっと
大きくなって、
もっともっと
いろんな物を
アナルに入れたい……

その目標に向かって
私は進んでいく
ことに決めた





公園で巨大な制服女子が
卑猥な行為に及んでいた
という噂が経ってから
3日後……。

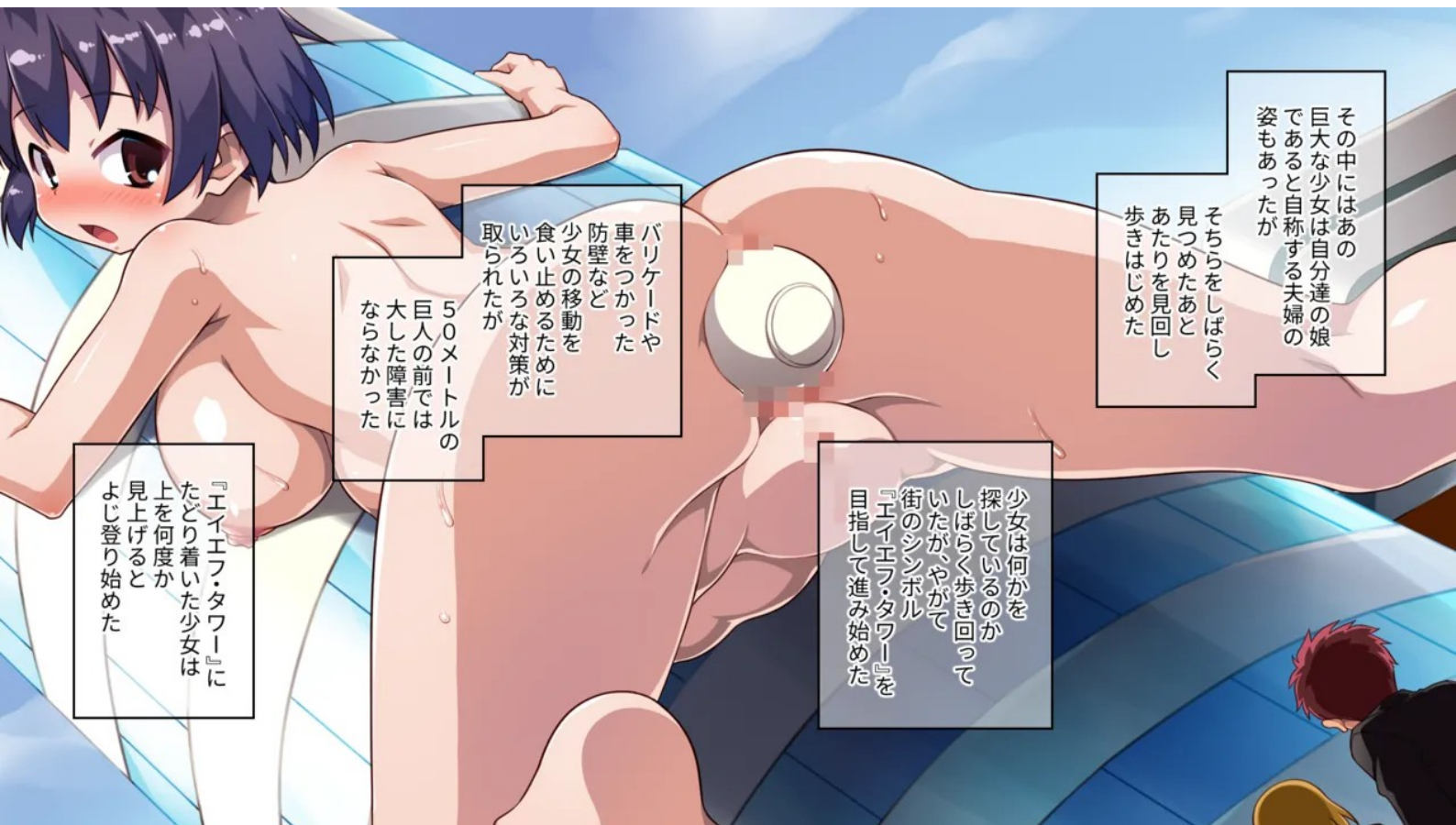
街なか
身長50メートルの
全裸少女が現れた

突然現れた巨人
しかも全裸の少女
ということもあり
周囲は大騒ぎになった

大きなものでは
自衛隊の出動を
要請するか否か

小さなものでは
巨人ではあるが
全裸かつ少女の
外見であるため
報道の際はボカシは
必要なのか
といった感じだ

顔立ちは日本人に
酷似しているため
日本語をつかった
呼びかけも
盛んに行われた



その中にはあの
巨大な少女は自分達の娘
であると自称する夫婦の
姿もあったが

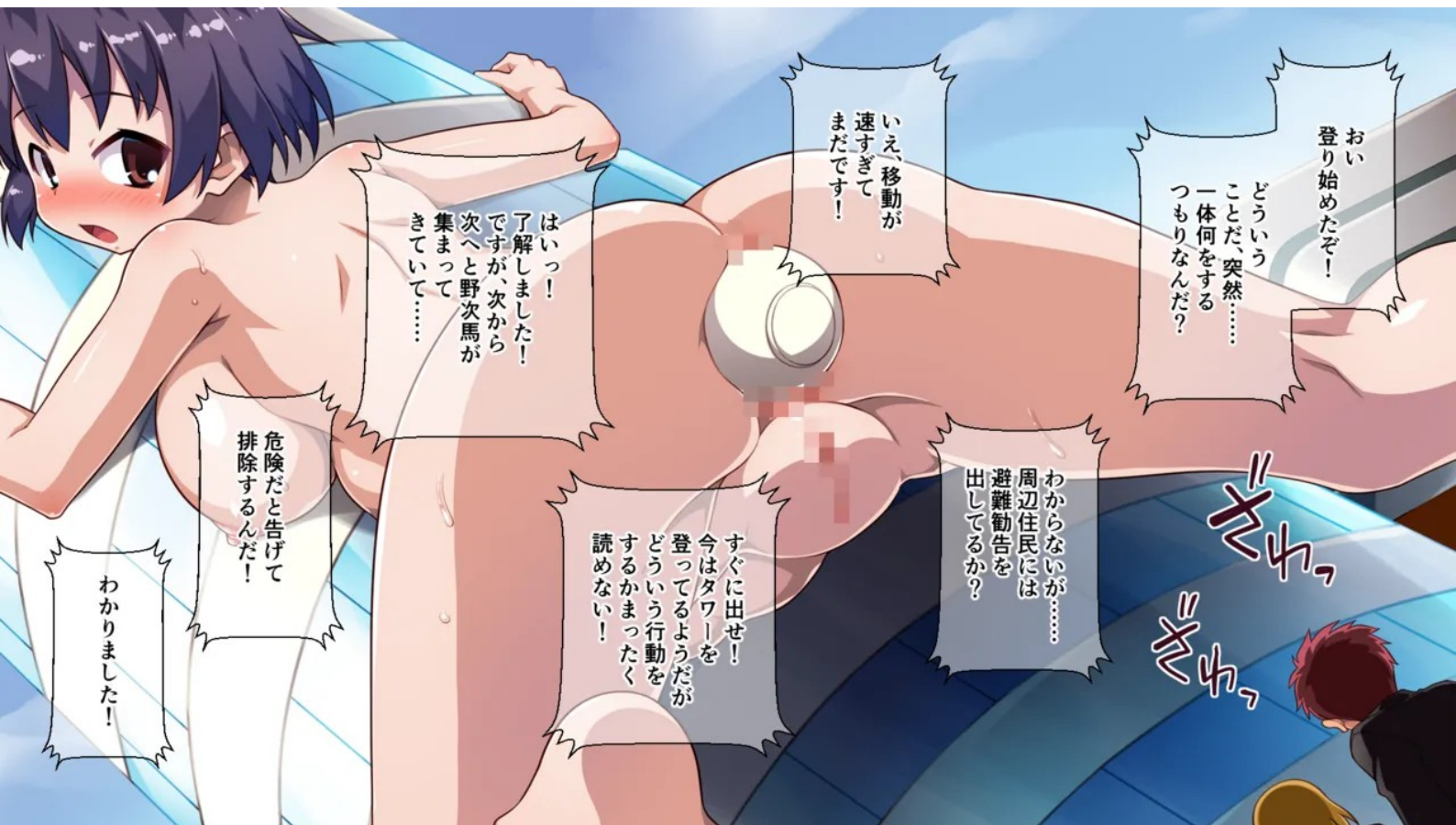
そちらをしばらく
見つめたあと
あたりを見回し
歩きはじめた

バリケードや
車をつかった
防壁など
少女の移動を
食い止めるために
いろいろな対策が
取られたが

50メートルの
巨人の前では
大した障害に
ならなかった

少女は何かを
探しているのか
しばらく歩き回って
いたが、やがて
街のシンボル
『エイエフ・タワー』を
目指して進み始めた

『エイエフ・タワー』に
たどり着いた少女は
上を何度か
見上げると
よじ登り始めた



おい
登り始めたぞ！

どういう
ことだ、突然……
一体何を
するつもりなんだ？

いえ、移動が
速すぎて
まだです！

はいっ！
了解しました！
ですが、次から
次へと野次馬が
集まって
きていて……

危険だと告げて
排除するんだ！

わかりました！

わからないが……
周辺住民には
避難勧告を
出してるか？

すぐに出せ！
今はタワーを
登ってるようだが
どういう行動を
するかまったく
読めない！

ぞゅ、

ぞゅ、





ふう……
とりあえず
あとは状況を
注視するしか
ないか……

ふうっ
ふうっ
んっ……
ふうっ……

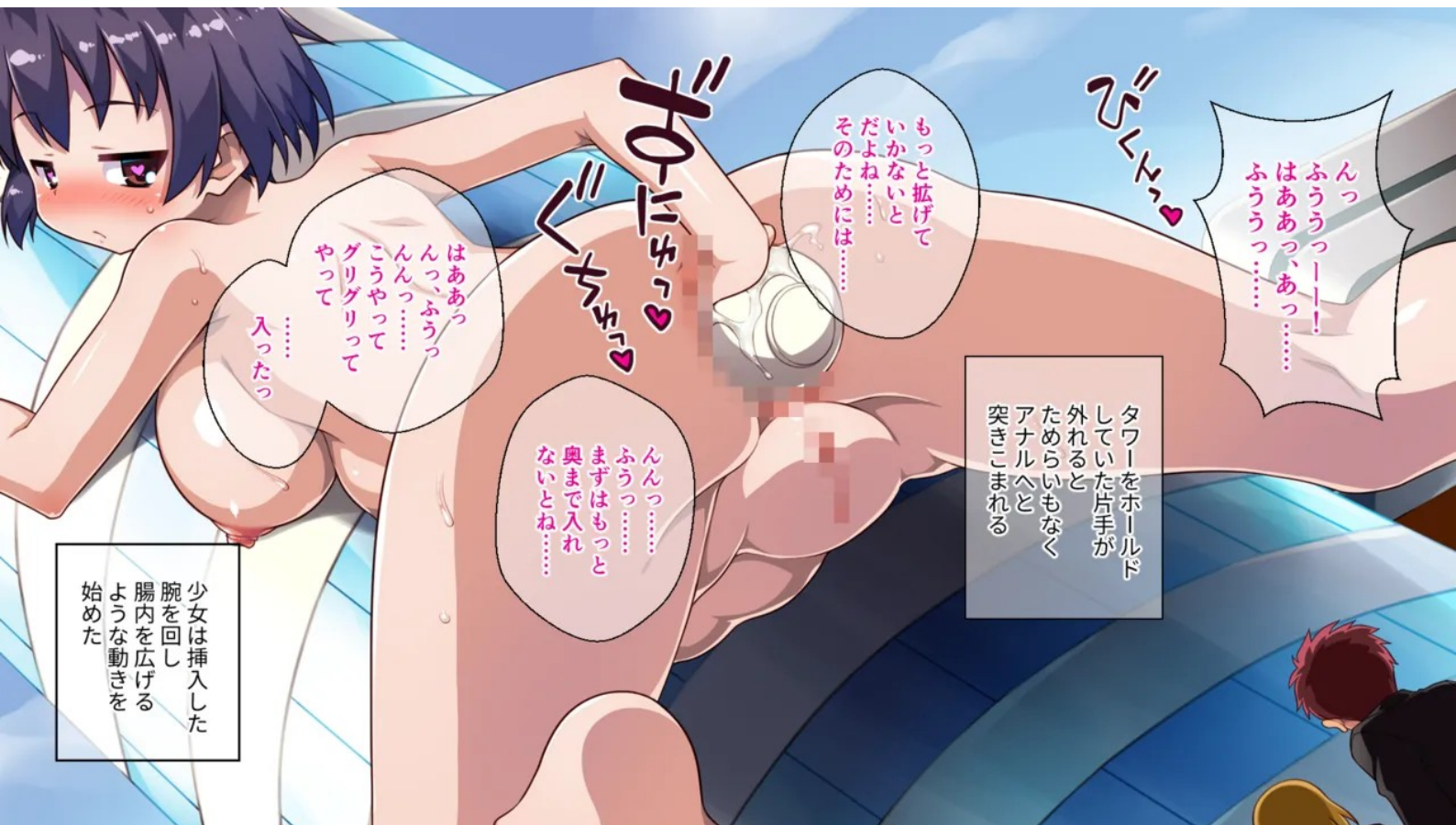
結構登りにくい……
まあ、人が登る
ために作って
ないから当然か
……んっ

登る動きを止めた
少女はアナルに手を
伸ばしていった

んんー
もう少し大きく
ならないと
アレは入りそうも
ないなあ
……よしっ!

ハア
ハア

ハア
ハア



んっ
ふううっー!
はああっ、あっ……
ふううっ……

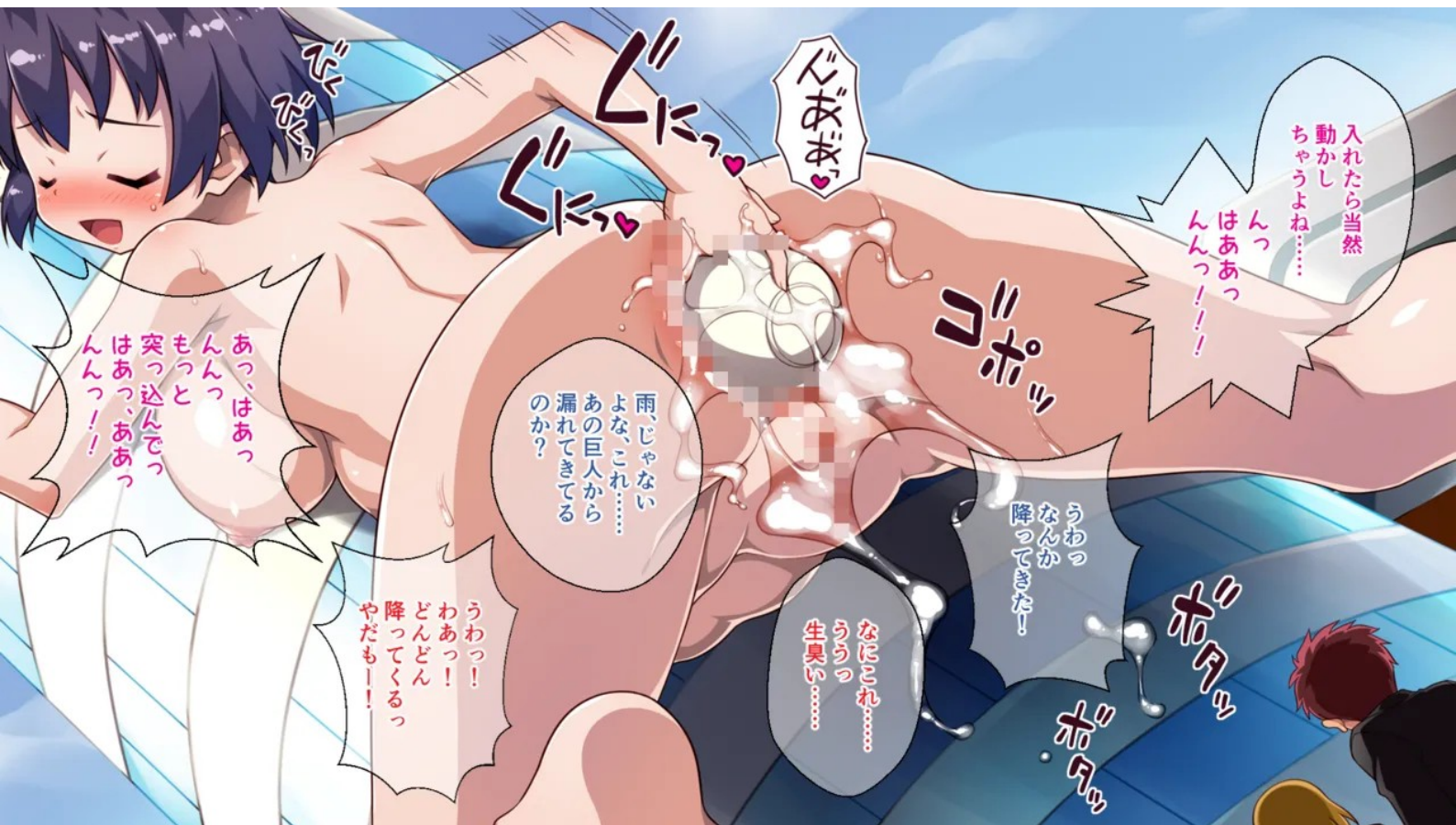
もっと拡げて
いかないと
だよ……
そのためには……

はああっ
んっ、ふうっ
んんっ……
こうやって
グリグリって
やって
……
入ったっ

んんっ……
ふうっ……
まずはもっと
奥まで入れ
ないとね……

タワーをホールド
していた片手が
外れると
ためらいもなく
アナルへと
突きこまれる

少女は挿入した
腕を回し
腸内を広げる
ような動きを
始めた



入れたら当然
動かし
ちゃうよね……

んっ
はああっ
んんっ!!!

コッポッ

うわっ
なんか
降ってきた!

なにこれ……
ううっ
生臭い……

雨、じゃない
よな、これ……
あの巨人から
漏れてきてる
のか?

うわっ!
わあっ!
どんどん
降ってくるっ
やだもー!!

あっ、はあっ
んんっ
もつと
突っ込んでっ
はあっ、ああっ
んんっ!!!

びく
びく

ホッ
ホッ

ホッ
ホッ



はああっ
拡がってる……
中の硬いのが
腸壁削りながら
拡がって……

これも
気持ちいいっ!!

んんっ、あっ
はあっ……
お汁溢れて……
はああっ
止まらないっ
ひっ、ふうっ
んんっ!!

ふああっ、あっ
ほおおっ
気持ちいいっ
はあっ、ひいっ
こんな
ところで……

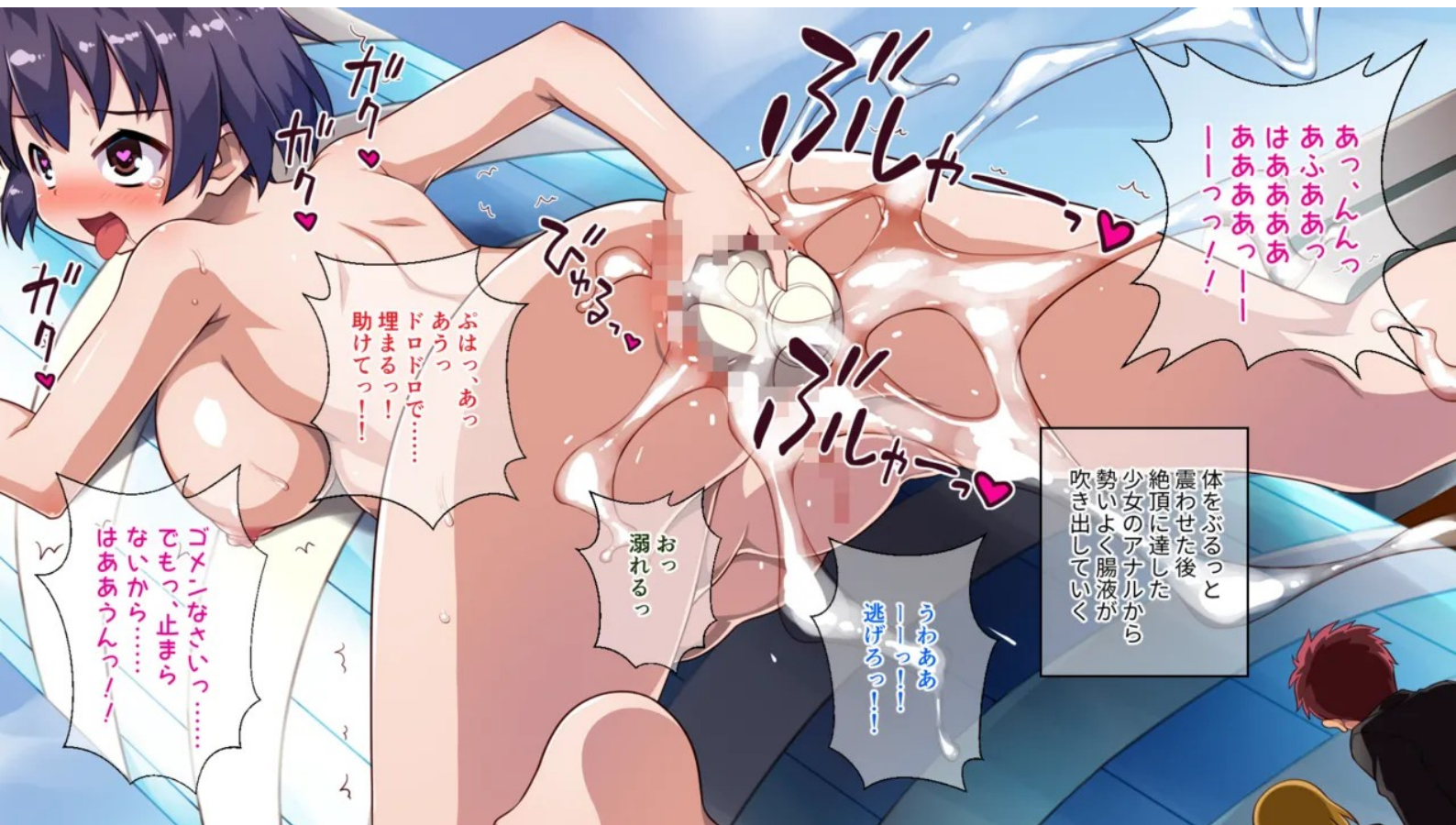
いっ
イっちやう……
はああっ!!

腕で腸内を
勢いよくグルグルと
かき回す少女

淫らな水音が
響きわたり
隙間から腸液が
こぼれ落ちる
そして地表に大きな
水たまりが次々と
作られていく

あふあっ
あうっ……
また吹き出し
ちやう……
下にいる人っ
逃げてえ
ー!!

ホッホッ



あっ、んんっ
あふああっ
はああああ
ああああっ
——っっ!!

体をぶるっと
震わせた後
絶頂に達した
少女のアナルから
勢いよく腸液が
吹き出していく

びしょっ
びしょっ

うわああ
——っ!!
逃げるっ!!

おっ
溺れるっ

ぶはっ、あっ
あうっ
ドロドロで……
埋まるっ!!
助けてっ!!

コメんなきゃっ……
でもっ、止まら
ないから……
はああうんっ!!

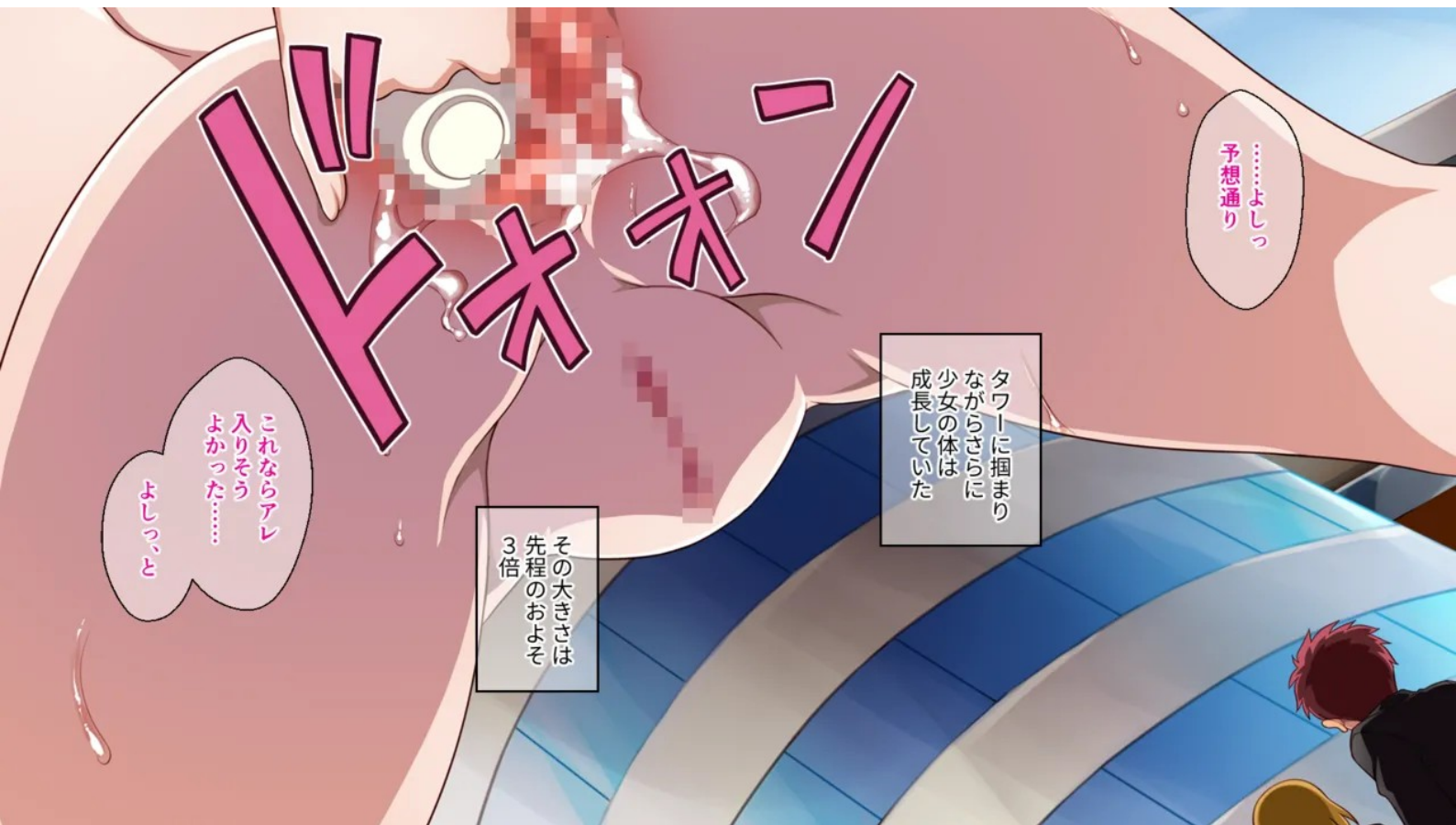
カク
カク
カク



滝のように
流れ落ちる
腸液に巻き込まれ
逃げ出す人々を
見ながら
少女は済まな
そうな顔をする

これだけ
拡げたら
流石に……
あっ
来たっ！

少女の体が
一瞬ぶれたかと
思うと、その姿が
膨らんでいった



……よしっ
予想通り

タワーに掴まり
ながらさらに
少女の体は
成長していた

その大きさは
先程のおよそ
3倍

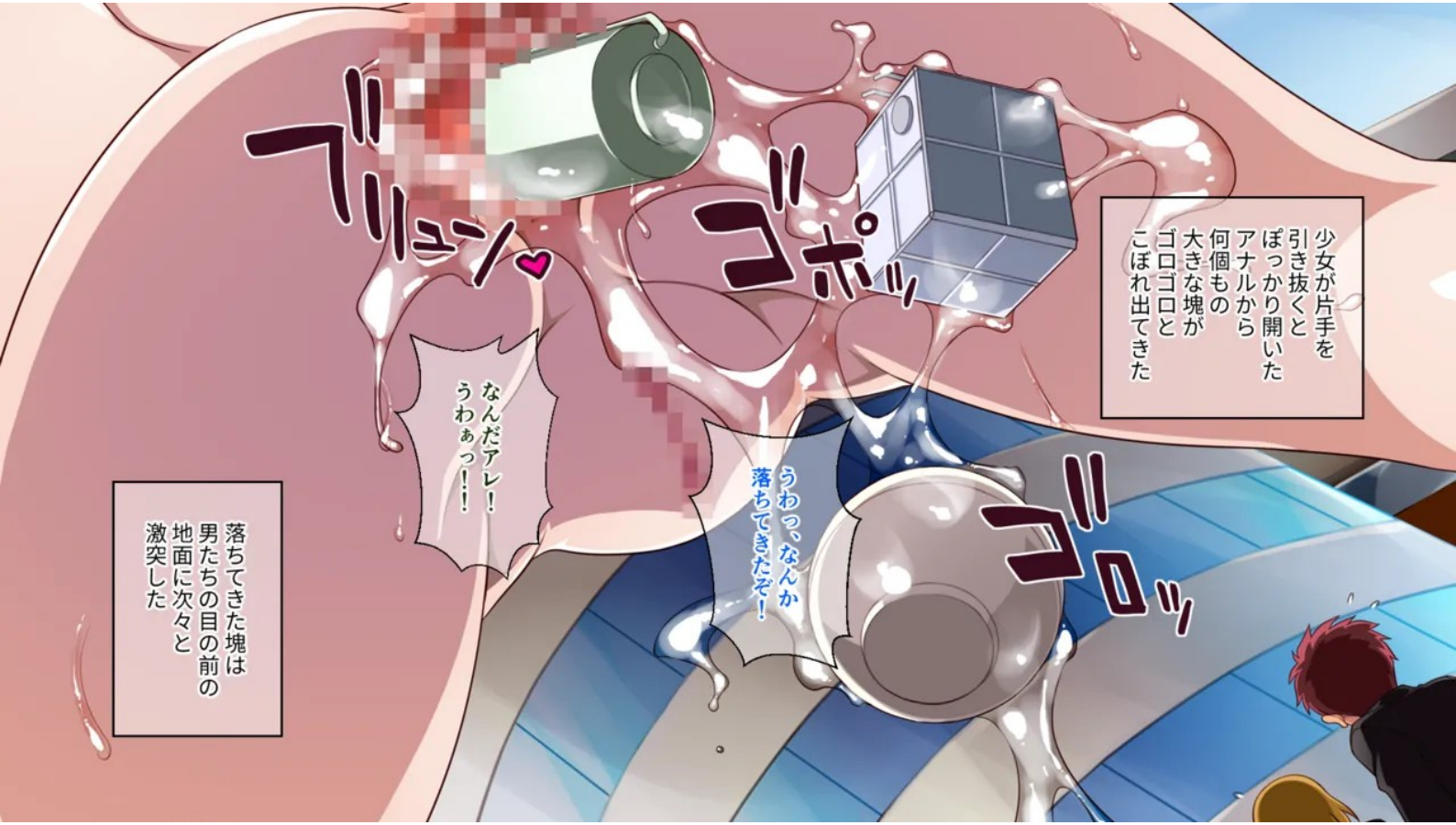
これならアレ
入りそう
よかった……
よしっ、と

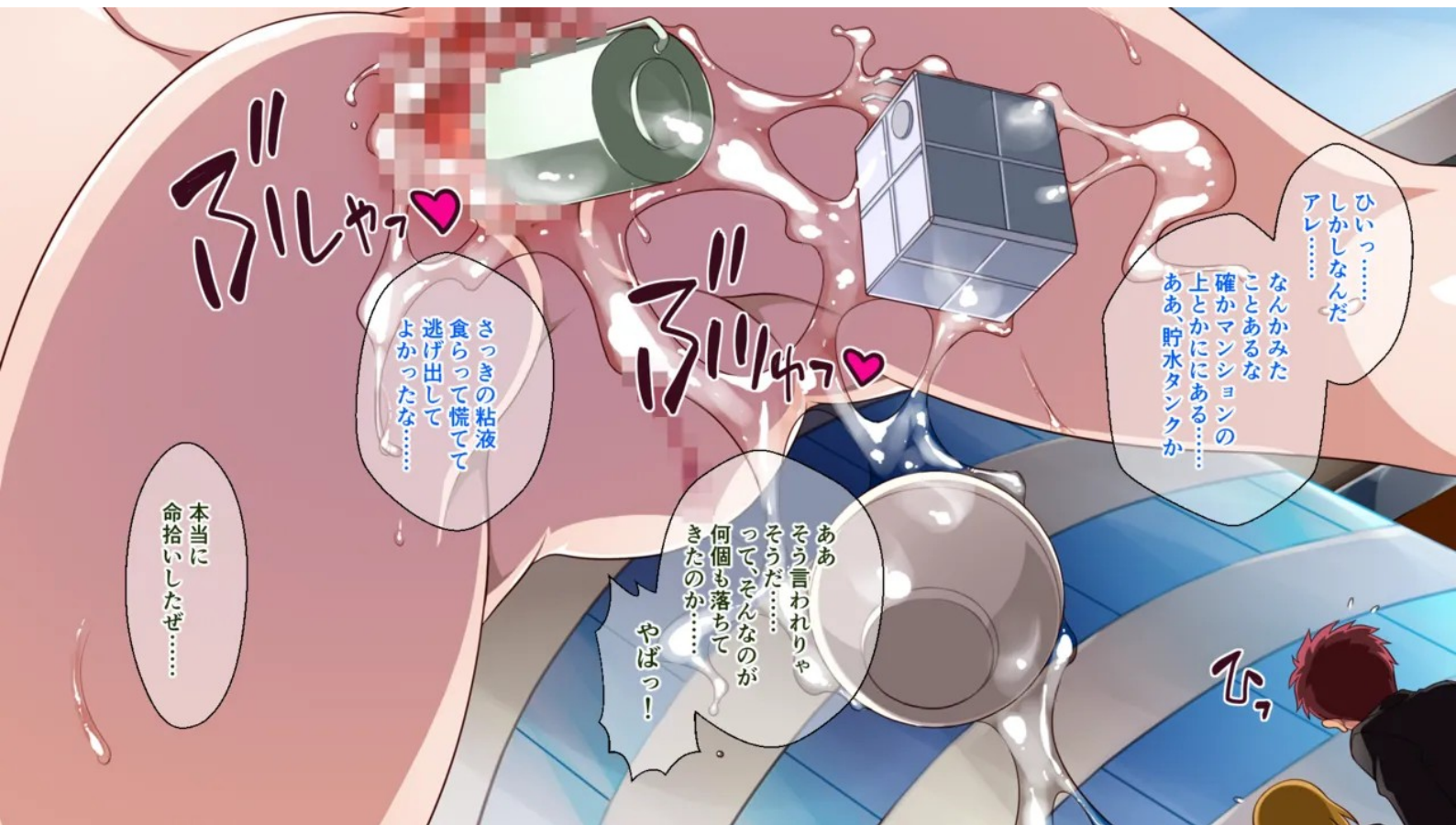
少女が片手を
引き抜くと
ぽっかり開いた
アナルから
何個もの
大きな塊が
ゴロゴロと
こぼれ出てきた

うわっ、なんか
落ちてきたぞ！

なんだアレ！
うわあっ！！

落ちてきた塊は
男たちの目の前の
地面に次々と
激突した





ひいっ……
しかしなんだ
アレ……

なんかみた
ことあるな
確かマンションの
上とかにある……
ああ、貯水タンクか

ズルッ♡
ズルッ♡

さっきの粘液
食らって慌てて
逃げ出して
よかったな……

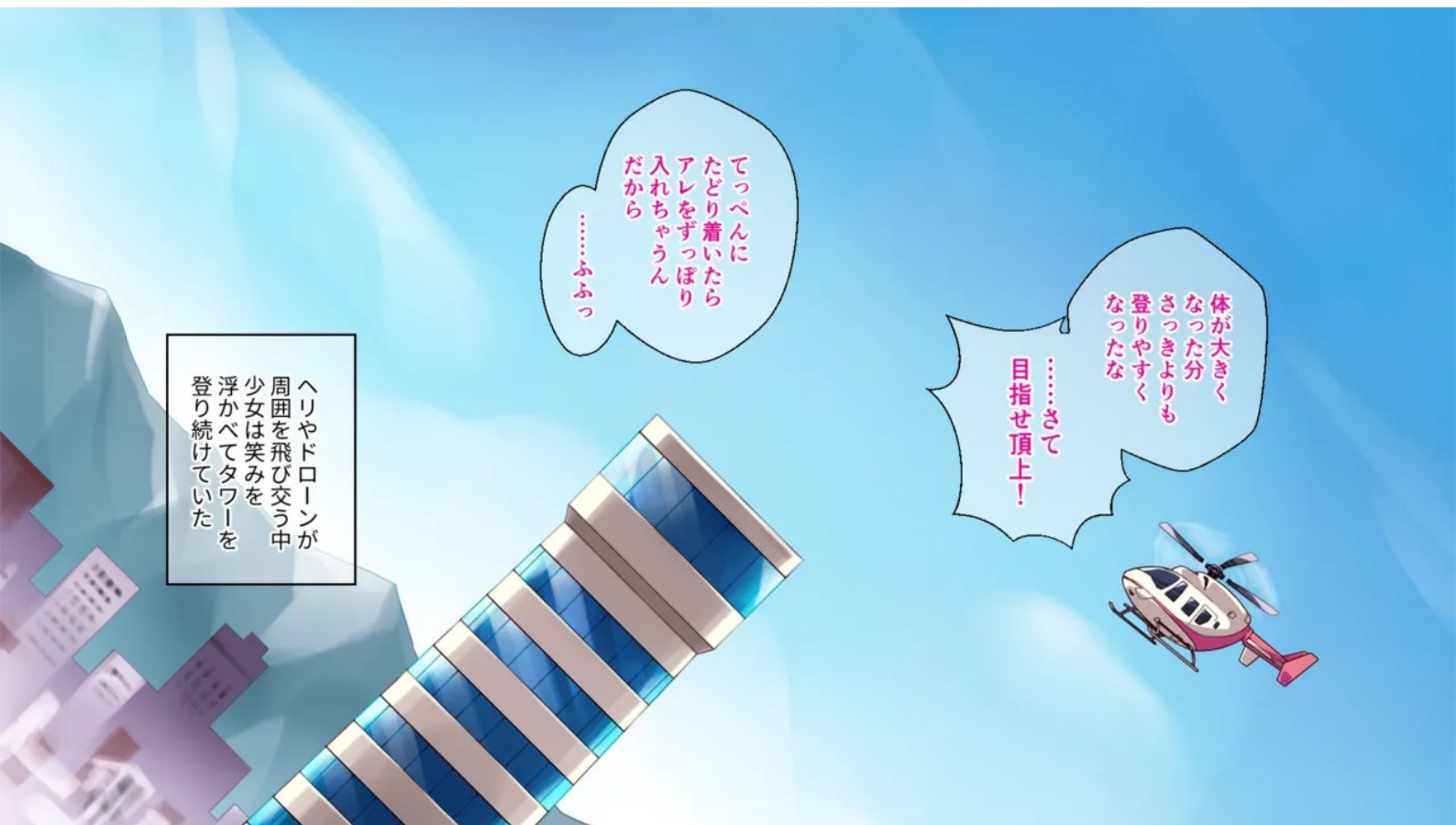
ああ
そう言われりゃ
そうだ……
つて、そんなのが
何個も落ちて
きたのか……

やばっ！

本当に
命拾いしたぜ……

びっ





てっぺんに
たどり着いたら
アレをずっぽり
入れちゃうん
だから
……ふふっ

体が大きく
なった分
さっきよりも
登りやすく
なったな
……さて
目指せ頂上!

ヘリやドローンが
周囲を飛び交う中
少女は笑みを
浮かべてタワーを
登り続けていた

……そして
少女はついに
タワーの最上部へと
到達した

満足気な笑みを浮かべ
少女はあたりを
ぐるりと見渡した

ふふふっ
やっど登り
きったあ……

大きくなった
とはいえ
結構時間
かかっちゃった

……うわっ
……人が一杯
集まっている
へりとかも
飛んでるし

ひょっとしたら
日本中が……
いや、世界中が
私に注目して
るのかも……





タワー直下は
落下物の危険が
あるせいか
人はまばらだが
そこから少し離れた
ところには
大勢の野次馬が
集まっていた

特に、高いビルの
屋上には裸の
巨人少女を少しでも
近い距離で見よう
という人々が
大挙していた

そう思うと
なんだか興奮して
きちゃうかも……



んっ
しょっ
……と

少女は張り出した
展望室の部分の
上に座り込むと
脚でタワー部分を
挟み込むようにした

動きがあったぞ
何をするつもり
なんだ？

野次馬たちが
ざわめく

結構しっかり
いける感じだね
……ふふっ

みんな
見てるなあ……
大勢の視線を
感じると
ゾクゾクして
きちゃうっ

さあて
いよいよ
念願の挿入……
いっちやおうっ！



おおっ
おおっ……
ほおおっ!!

なんだっ……
力尽きたのか?

いや、むしろ
余裕のある
表情に見える
けど?

おおっ
ほおおっ……
ここまで拡げて
体大きくなつて
ギリギリ入るか
どうかって感じ……

脚の力を緩めたのが
少女の腰が少しずつ
落ちていき
展望台がアナルの
中へと飲み込
まれていく

少女が体を
揺すり始める

すると、展望台が
さらに肛門の
中へと飲み
込まれていく

うっ
うっ
うっ……



びんぽん♡

ふんっ……
ふううっ……
ほおおっ

展望台の
出っ張りが
腸内を
ゴリゴリって
……凄いつ

んっ♡

はあっ……
気持ちいい……
もっと擦り
つけちゃおう……
んんっ、ふうっ……

ズン……

ふああっ
はああっ
展望室
いいのおっ!

ズン……

ズン……

ズン……



うわあっ
おいっ
なんだ
なんだ
これっ!!

ヌルヌルした
肉がガラスに
張り付いて...

さっきの巨人が
なにかして
いるのか?

こ、これ
見て?

女がスマホを掲げると
タワーを空撮した
テレビの生中継が
映し出されていた

巨人少女が
腰を落とし
そのアナルに
飲み込まれて
いる展望台

それが自分たちの
いる場所で起きている
ことだと知り
客たちが
蒼白になる

ざわっ
ざわっ



てことは
この目の前一杯に
張り付いてる
肉みたい
なのって……

この巨人の
ケツの
穴の中って
ことなのか！

このままじゃ飲み
込まれちゃう……

そんなの
嫌あ！

に、逃げ
なぎゃつ……
うっ
うわあつ……！

さっきよりも
揺れが
激しく……

うわっ
ああつ……！

きやああ
あああつ
……！

わああ、

びいっ



ほおっ
はああっ
あっ、あふあ
あああっ!!

このフチの
部分がいい
ところに
擦れて...

少女はまたがった
まま、腰を上下に
ビストンしていく

んふうっ
んんっ
はああっ
もっと
奥まで...

もっと
拡げちゃおう!!

ふぁあっ
あっ、はっ
んふう
ううっ!!

はあっ
ふうっ
んああっ!!

コレ
すごいっ...
入れて
よかったあ!!

感じすぎて...
またお汁
溢れて
きちやう...

んんっ
ふううっ……
腰動かす度に
どんどん
こぼれ
ちゃうっ!!

ピストンが
繰り返される度に
アナルの隙間から
大量の腸液が
こぼれ落ちる

雨というよりは
滝のような勢いで
粘液が
アスファルトに
次々と叩きつけ
られていく

うわっ道路を
波が……
足を取られるっ!!

なにこれっ
うわっ
ヌルヌルがっ……

地表で粘液の塊が
弾ける度に
人々の悲鳴が
聞こえてくる

ん
ん
ん





だんだん
拡がってきたっ
奥まで……
ふああっ
はああっ!!

大きく
のけぞったあと
ピストンの動きが
さらに深く
なっていく

おおおっ
ほおっ……
奥まできたあ!
ほっ、おおっ……
これなら……
もっと

んんんんーっ
ふううっ!
ほおおっ
おおっ……
んんっ!!

もうちよっと……
ちよっとで……
んほおおっ!!

んんんんっ♡

んんんんっ♡

んんんんっ♡



おお
おおっ!!!
ほおお
おおおっ!!!

御覧ください
今少女の腹部が
ほっこりと
盛り上がって……
あれは、展望台の
形でしょうか……

そ、そう
みたいです

生放送をしている
アナウンサーと
解説の声がビルの
巨大スクリーンから
流れている

映像は少女の周りを
飛び回っている
ヘリ達が撮影して
いるのだろう

す、すると
あの中には展望台が
すっぽり入ってる
ということに……

なり……
ますね

え……
ええーっ!

ぞく

ぞく

×××××

聞こえてくる
声を背に
少女は腰を沈め
続けていた



こんな
ところまで……
展望台入っちゃっ
てるって……
はあっ、あっ
んふっ、すんっ！

ガクッ
ガクッ

んふっ、はあっ
あああ……
ふふっ
おっぱいの
すぐ下まで
来ちゃった……

はああっ
お腹のなか
こんな太いのが……
ゴリゴリって
腸内削ってる……
ああっ、はあっ
んっ！

ぎゅっ
ぎゅっ



ああっ
カメラがあっち
こっちに……
こんな凄い
ところまで
入ってるのを
みんなに見られ
ちゃってるんだ……

んんっ
そう思った
だけで興奮して
さちやう……

あっ
また腰の動きが
激しくなって……

んはあっ、あっ
腰とまらないっ
展望台擦れて……
いっ、はあっ
あっ……んっ
心ああっ!!!

ガク

ガク

ピク

ピク



あああっ
はっ、はっ……
イキ過ぎて
溢れ出ちゃっっ
はっ、あっ
はあああっ……
止まらないっ……

びゅん
びゅん
びゅん

んはあああっ
あっ、ひいっ
イグググググググ
イグググググググ
イグググググググ
イグググググググ

びゅん

びゅん

びゅん





はあっ
あああっ……
はああっ……

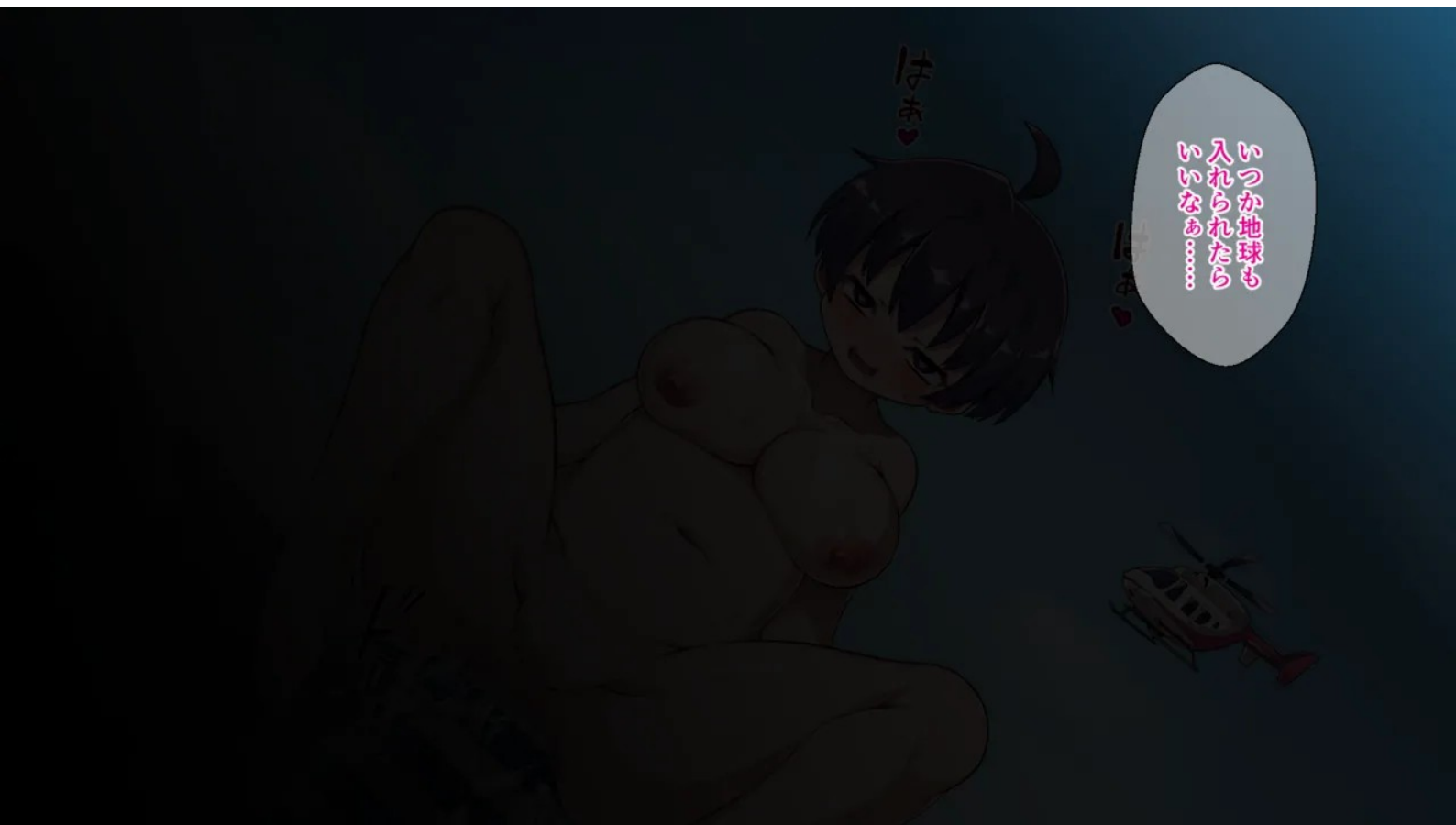
はあ♡
あ、これ
また体が
大きくなる……

はあ♡
もっともっと
いろんなもの
大きなものが
入るね……
今度は何を
入れようかな……
はああっ
楽しみ……

飛び回るへりを
じっと見ながら
少女は恍惚の
表情を浮かべていた

やがて少女の体が
光りはじめ、
その大きさを
増していく……

ド
コ
ッ……



ほま

ほま

いつか地球も
入れられたら
いいなあ……





























































































































































































































































